

貧困のない、
誰もが生き活きと
生きられる社会へ



一般社団法人 グラミン日本 第3期 事業報告書





グラミン日本は、日本の貧困や生活困窮の状態にある方々に
低金利・無担保で少額の融資を行い
こうした方々が起業や就労によって貧困や生活困窮から脱却し
自立することを支援するマイクロファイナンス機関です。
これまでの金融ではカバーされなかった人たちに
起業や就労の準備のためのお金を融資し
「貧困のない、誰もが生き活きと生きられる社会」を目指してまいります。

Messages from President and CEO	P3	ごあいさつ
What is Grameen?	P5	グラミンとは
Why in Japan?	P7	日本の貧困とは
Our Mission	P8	グラミン日本のミッション
How We Work	P9	グラミンの支援
How to Support Us	P13	グラミン日本へのご支援について
Financial Outcomes	P23	財務状況
Media & News	P24	メディア掲載情報
History	P25	沿革
Future Outlook	P26	今後の展望
About Us	P27	会社概要

Messages from President

ごあいさつ

グラミン日本の設立、 おめでとうございます

グラミン銀行創設者

ムハマド・ユヌス博士

Professor Muhammad Yunus



2008年3月18日に、ダッカのグラミン銀行で初めてマサ（グラミン日本理事長 菅正広）と出会ったことを鮮明に覚えています。マサは私に、日本でもマイクロファイナンスが実現できるかどうか尋ねました。私は、マイクロファイナンスはどこでも実現できる、もちろん日本でもと答えました。マサはこの私の言葉を真剣に受け止めて、日本でマイクロファイナンスを始める計画を立て始めました。そして最初の出会ってから10年、ついに夢のプロジェクトを始めるためにここに一緒に立っているのです。日本で初めてのグラミン型マイクロファイナンス機関が設立されることをとても嬉しく思います。

誰でも、他の人を助けてその問題を解決したいという、強い無私の志を持っていると私は信じています。無私の志は、個人的な利益を得たいという欲求と同じくらい強いものです。しかし現代の資本主義は人間のこの強い志を活かすことに関心を払ってきませんでした。その結果、世界経済は利己に偏った成長を続けてきました。ソーシャルビジネスは、現在の資本主義のこの

根本的な概念的枠組みの欠陥を正そうとする試みです。

私は、3つのゼロ—貧困ゼロ、失業ゼロ、二酸化炭素排出量ゼロ—の世界は、私たちがそのような世界を創る決意を固めれば実現できると固く信じています。古い道を歩めば古い目的地にしかたどり着けません。新しい目的地に行きたいのであれば、新しい道を歩むことが必要なのです。ソーシャルビジネスは、日本が直面する問題に取り組む有力なツールになります。これこそ新しい道なのです。

グラミン日本が、今後皆さまのご支援を得て末永く活動し、生活困窮する人々を支援するのに成功するものと固く信じています。日本の人々、企業、銀行、中央・地方政府、NPO、その他のパートナーの方々が温かくグラミン日本を支援してくれることを心から期待しています。

全ての日本の皆さまとグラミン日本の幸運を心よりお祈りします！

and CEO

グラミン日本 設立1周年を迎えて

グラミン日本理事長 菅正広
Masahiro KAN

福島県生まれ、財務省で財政金融行政に携わり、世界銀行日本政府代表理事などを務めた後、2017年より明治学院大学大学院教授。2017年8月、グラミン日本準備機構を立ち上げ、グラミン日本設立に向け準備。2018年9月グラミン日本設立と同時に同理事長



一般社団法人グラミン日本にご支援をいただき、誠に有難うございます。

グラミン日本を2018年9月13日に立上げてから、1年を迎えました。この間、グラミン日本は「貧困のない、誰もが生き活きと生きられる社会」を目指して活動してまいりました。この1年間を振り返り、改めてこれまでのご支援に心より感謝申し上げます。次第です。

グラミン日本は、日本で最初のグラミン型マイクロファイナンス機関として設立されました。グラミン日本の各事業について過去1年間を振り返ってみますと、小さくも大きな一歩を踏み出した1年であったように思います。

隔週毎にメンバー（グラミン日本のご利用者）向けに説明会を開催し、またアライアンスを組ませていただいている企業様や団体様との説明会開催などの協働を通じて、メンバーへのアウトリーチに取組んでまいりました。これまで約140人の潜在的なメンバーの方々と、直接ご相談させていただきました。このうち、3組15人が5人一組のグループを作り、うち2組の2人に融資が行われ

ました。

現在、さらに数組が5人一組のグループ形成の準備を進めており、当面10組50人への融資を目指しています。グラミン日本を立ち上げて間もないということもあり、融資実績はまだ少ないですが、メンバー候補者とのコミュニケーションを通じて様々な経験と学びが蓄積できた1年でありました。「小さく始めて大きく育てる」グラミン方式に従い、成功事例を積み上げて次の展開につなげていきたいと考えています。

まだまだグラミン日本を必要としている方々に十分なアウトリーチができておりませんが、この1年間の活動を通じて得た経験を活かし、来期は地域での地道な活動をしつつ、より多くの企業や団体、自治体などとの協働を通じて、サポートを必要としている方々にアウトリーチを拡大していきたいと考えています。

皆様のご支援、ご助言をいただきながら、前に進んでまいりたいと考えています。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

What is Grameen?

グラミンとは？

グラミン銀行は、1983年にムハマト・ユヌス博士によりバングラデシュで創立されたマイクロファイナンス機関です。

貧困や生活に困窮する人々に低金利・無担保で少額融資を行い、貧困脱却・生活自立の支援をしています。設立以来延べ900万人以上の人に融資を行い、返済率99%という驚異の実績を誇ります。



— 1989年 — 世界に広がるグラミンの輪

1989年には、グラミン銀行のマイクロファイナンスモデルを世界中に広め貧困撲滅を目指す非営利組織「グラミン・トラスト」を設立。世界40か国以上で展開され、途上国のみならず、欧米先進国でも貧困削減に貢献しています。

— 2008年 — 「グラミン・アメリカ」設立

米国に設立された「グラミン・アメリカ」は、銀行から融資を受けられない貧困状態の女性に融資することで、起業と自営を促進している非営利・非課税組織です。2008年1月の創立以来、約12万人を対象に12億ドル以上の融資を行い、関連して12万件超の雇用を生み出すなど、先進国においてもグラミンモデルが貧困削減に大きな効果を上げることを示しました。

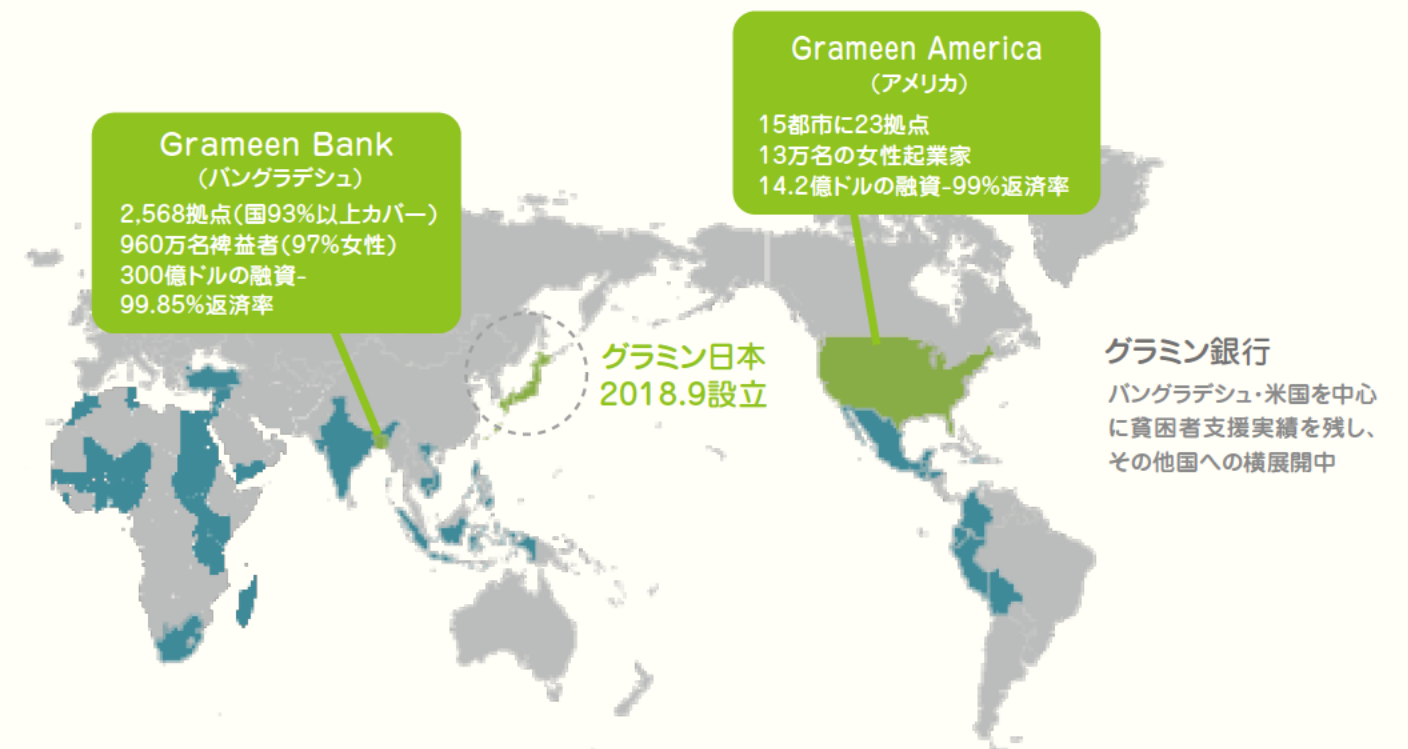
— 2006年 — ノーベル平和賞を受賞

貧困脱却支援の功績が認められ、グラミン銀行とユヌス博士はノーベル平和賞を受賞しました。

ノーベル
平和賞
受賞

— 2018年 — 「グラミン日本」発足

2017年のユヌス博士来日時、明治学院大学大学院 菅正広教授と合意したことを受け、2018年に「グラミン日本」が設立されました。グラミン日本は、同じく先進国であるグラミン・アメリカの成功例をもとに、貧困・困窮状態の方々へのマイクロファイナンスを行っております。



グラミン日本は、ユヌス博士が提唱する
ユヌス・ソーシャルビジネス7原則に
基づいて設立・運営されています。

ユヌス・ソーシャルビジネス7原則

- 1 利益の最大化ではなく、社会問題の解決こそが目的であること
- 2 財務的に持続可能であること
- 3 投資家は投資額を回収するが、それ以上の配当は分配されないこと
- 4 投資額以上の利益はソーシャルビジネスの拡大や改善のために使うこと
- 5 環境へ配慮すること
- 6 スタッフは標準以上の労働条件・給料を得ること
- 7 楽しみながら仕事をする事

Why in Japan?

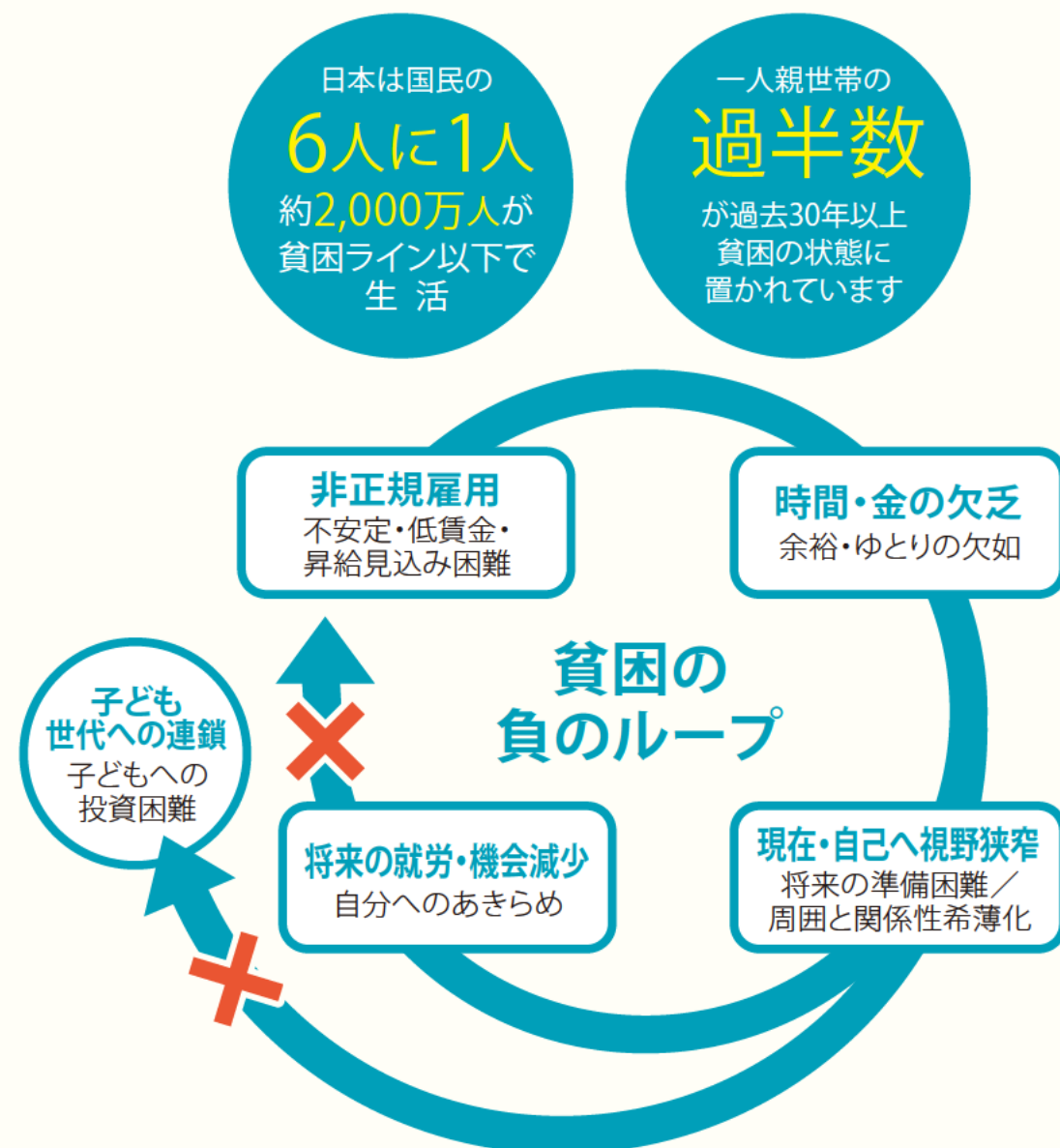
日本の貧困とは

国民の6人に1人が貧困?

先進国と呼ばれる日本ですが、国民の6人に1人が貧困ライン(※)以下での生活を余儀なくされ、「隠れた貧困」が深刻化しています。一人親世帯の過半数が貧困という国はOECD先進国35カ国の中で日本だけです。

現代の日本で、貧困は、失職、病気、ケガ、事故、配偶者との離別・死別、介護などによってほとんどの人に起こり得る、明日は我が身の問題なのです。

※年間の可処分所得が約122万円以下、月で約10万円以下(出典:平成28年国民生活基礎調査の概況 | 厚生労働省)



Our Mission

グラミン日本のミッション



貧困のない、
誰もが生き活きと
生きられる社会へ



私たちは、働く場所があるということが真の意味で人を貧しさから救う、そして融資資金はそのための種(シード)になると考えています。

グラミン日本は、開発途上国のみならず、欧米先進国でも貧困削減に効果を上げているマイクロファイナンスを実践するグラミン銀行の日本版です。日本の実態にあった方法で運営します。貧困のない、誰もが生き活きと生きられる社会をつくりたい、それが私たちの想いです。

グラミン日本が目指す社会

- 1 貧困・生活困窮に陥った時、そこから脱却する助けがセーフティネット／ソフトインフラとして整備されている社会
- 2 生業的な起業(プチ起業/小商い)が普通にできる社会
- 3 Job Seekerより Job Creatorが活躍できる社会
- 4 地域・コミュニティがお互いに助け合い、共感のある社会
- 5 ユネス・ソーシャルビジネス7原則が実践される社会
- 6 会社が、株主だけでなく経営者、社員、取引先、顧客、地域・コミュニティなど全ステークホルダーに貢献する社会

How We Work

グラミンの支援

貧困状態では、今を生きることに関心があたるあまり、
将来の生活向上につながる行動が不十分となりがちです。
既存の支援制度も当面の生活支援に主眼が置かれ、
自立支援の取り組みも十分には行き届いていないのが現状です。

グラミン日本の2方向への支援活動

マイクロ
ファイナンス

コレクティブ
インパクト

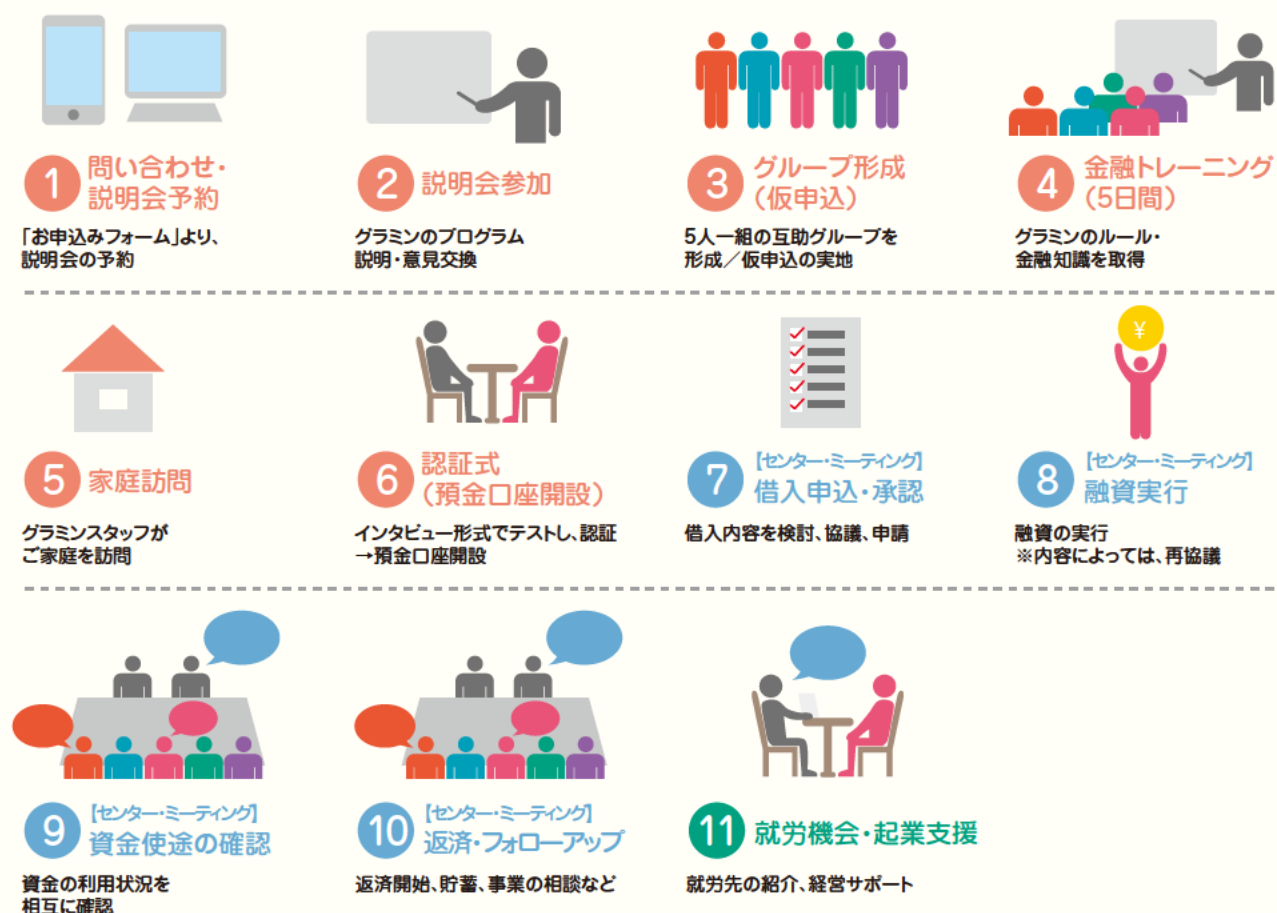
マイクロファイナンスとは

- 1) 生活困窮(貧困)者に対する
- 2) 小規模の
- 3) 無担保の融資など(保険・送金・貯蓄)の金融サービスです。

グラミンでは、通常の銀行とは異なるビジネスモデルで、生活困窮者に寄り添いながら低い貸倒率を実現しています。このように、ビジネスの手法を用いて、貧困削減という社会的課題解決のために、財務的リターンと社会的インパクトの両立を追求する事業は、ソーシャルビジネスと呼ばれています。

支援の流れ

グラミン日本では、働く意欲はあっても今はお金がない方々に、
自立のための少額の融資と就労・支援をワンストップで提供いたします。



メンバーとなる条件

- 現在の収入が一定ライン(※)以下の方
※生活保護基準の1.8倍以内が目安。地域や世帯構成によって異なります。
- 5人一組のグループで互いに信頼しあい、助け合うことができる方
5人一組の互助グループは、グラミン・メンバーの基本単位です。互いに監視することが目的ではなく、信頼関係に基づいて仲間と一緒に支えあって頑張っていくコミュニティです。
- 規律を守れる方
毎週のセンターミーティング(5人一組のグループの会合)に参加できる方

コ レクティブインパクトとは

異なる分野から集まったプレーヤーが、共通の課題や目的に向けて連携しシナジーを生み出すことで、個別アプローチでは解決できなかった社会的課題を解決する試みのことです。

支援企業・団体・個人のサポーターと連携し、マイクロファイナンスに加え、カウンセリング、トレーニング、マッチング、起業アドバイス、そして成果の見える化・啓蒙啓発を通じた政策提言や持続可能な資金調達など、包括的で切れ目のないアプローチでメンバーの方を支援します。



貧困脱却と自立に向けた金銭・非金銭的支援を組み合わせ、支援企業・団体・個人と共に共通価値創造のエコシステムを形成し、「貧困のない、誰もが生き生きと生きられる社会」の実現を目指します

貧困に関連する課題と対応するSDGs

SDGsとは

Sustainable Development Goals

2015年9月の国連サミットで採択された、17のグローバル目標と169のターゲットから成る、2030年を年限とした持続可能な開発目標です。



グラミン日本は、目標1「あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる」こと、そしてそれに関連する諸目標の達成に向けて、マイクロファイナンス事業を通じた貢献や、支援企業・団体と連携した様々な取り組みを行っております。



How to Support Us

グラミン日本へのご支援について

グラミン日本への3方向の支援活動

連携

資金

参加

連携する

生活困窮者や子供の貧困などの状況を把握し支援をされている団体や自治体と情報共有し、企業のノウハウやリソースも活用しながら、グラミン日本を触媒としてコレクティブインパクトのアプローチで問題解決に向けて真摯に向き合い、より効果的な実施を実現したいと考えています。

目指す姿

支援企業等との連携による生活困窮者の自立支援を持続させる仕組みの構築

		会員のニーズ	グラミンの貢献
創出 新規事業	A ソーシャルビジネス協創	SDGsのトレンドも踏まえ新規事業を創出し、貧困層の活躍機会を拡大したい	現場ニーズの把握、NPOやSDGsに関心のある企業等多様なパートナーとの連携・推進
	B インクルージョン&ダイバーシティ促進	ダイバーシティ人材提供 I&D推進人材育成	人材不足の領域を活用して、多様な人材に労働機会を提供したい グラミンプログラムへの参加者を労働者として派遣
	C SDGs 対応ブランド強化	SDGs 対応ブランド強化	自社社員にインクルージョンダイバーシティを経験させたい 融資事業・ソーシャルビジネス実践の場を通じた人材育成機会の提供
既存事業強化		SDGs 対応ブランド強化	ノーベル平和賞受賞等により貧困脱却の分野でトップの知名度を持つブランドの活用

連携内容

生活支援対象者の共有、支援方法ノウハウの連携、各種イベントの共同開催等

- NGO・NPO・一般社団法人などの公共・公益活動を実施している団体様、各自治体様

借り手(生活困窮者)に対する継続的な各種トレーニング方法の検討・実施

- トレーニング等を検討、提供されている団体様
- 個人や企業に対し経営改善等のアドバイスを実施されている団体様

借り手(生活困窮者)のミーティングやイベント開催のための連携

- 空スペースや空き家などの有効活用を実施されている団体様
- 不動産業や全国に支部等を展開している、あるいは関係団体等がおありの団体様

借り手(生活困窮者)の就労のため

- 借り手に対する就労機会の提供(働きやすい職場の提供)
- 借り手の就労・起業に資する金融教育、資格取得のためのプログラム、各種職業訓練などの提供
- 借り手が起業するための各種支援

グラミン日本の運営のため

- グラミン日本の運営のための寄付金
- 企業様が発行しているポイントの寄付(なお、寄付の方法については、ご提案や共同のご検討を頂きますと幸いです)
- 消費者や各種会員様が所有している失効前の少額からのポイントの寄付
- グラミン日本が開催する各種イベントへのスペース提供
- グラミン日本の今後の拠点運営(活動拠点、出張所など)のためのスペース提供
- グラミン日本の運営に必要な事務用品の寄贈

例えば...



キッズラインとは、「新しい働き方セミナー」の開催をしています。



ジモティーとは、グラミン日本の説明会の告知での連携をしています。



三井不動産とは、設立パーティーの会場の提供、また日本橋本店オフィスのサポートを頂いております。

Our Projects

プレグラフェスタ開催 日本シングルマザー支援協会 2019年9月15日(日)

プレグラフェスタとは、日本シングルマザー支援協会がグラミン日本と連携し、グラミン日本に興味はあるもののいきなり参加するには不安があるというシングルマザーのために設けた、融資や金融などグラミンの仕組みを身近に感じ、気軽に情報共有が出来る場です。

日本シングルマザー支援協会会員という共通項の中で、安心・安全な場の提供ができています。

不安や悩み・自分の夢を、偏見を受けずに安心して話せる場となっており、その協会と会員の信頼関係の中で、グラミン日本の紹介・具体的な活用法を伝えることで、抑えていた自分の可能性を信じ、未来を考えていきます。

「5人一组」「金融教育」「資金提供」の良さが伝わるように、疑似体験できるような内容を心掛けています。また、毎回アンケートを実施し、その感想のシェア・次回以降のプレグラミーティング行っています。

グラミン日本・連携企業からのサポートもあり、具体的に起業に向けて進むメンバーもあり、協会としては、メンタルサポートを含め個別相談も実施しています。

いきなりグラミン日本にいくのはハードルが高いけれど、プレグラミンからスタートできるのは参加しやすい!

プレグラフェスタで、企画書作成や実行の体験ができた。それをサポートしてくれたので、学びながら自信にもなりました!



宅配ドライバーを対象としたLuceの共同プロジェクト

宅配ドライバーを対象に、キャリア形成支援を行います。宅配ドライバーは、隙間時間に働く学生や主婦から、配達を本業にしている人まで、多様な働き方をする方々であることを想定いたしますが、様々な属性を持つ配達員の中でも、スキルアップを望む強い熱意とポテンシャルを持っている方が多く存在しております。

それぞれの状況に合わせたビジネススキルを習得する機会を提供することによって、起業、本業の収入向上および転職してキャリアアップなど、パラレルキャリアを実践しながらステップアップすることを支援いたします。

グラミンさん含むグループワークの良い点はひとりで事業内容を詰める時とは違い、別視点での意見や実際の業界の詳しい情報を得られることです。企業が必要とすることと、一般消費者が必要とすることを同時に得られる機会はなかなかなくすごく貴重な時間だと思っています。

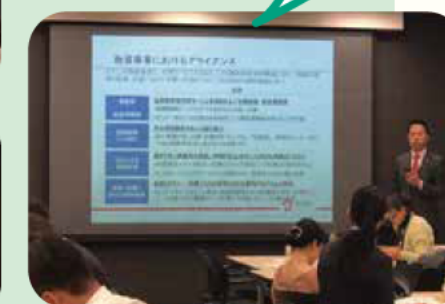


第1回SDGs コンソーシアム開催レポート

2019年1月28日、グラミン日本は、賛助会員企業様向けにソーシャルビジネス協創の場となる「第1回SDGsコンソーシアム」を開催いたしました。当日は第1部、第2部合わせて66名の方にご参加いただきました。第1部では、グラミン日本理事の百野より、日本の貧困の実態についてデータを交えつつアイスブレイクのプレゼンを行い、参加者と意見交換しました。課題解決のためには既存のセーフティネットと併せ、自立を支える仕組みづくりが必要であるというグラミン日本の問題意識をお話しました。第2部では、賛助会員企業様より、グラミン日本と進めている連携の経緯や具体的な協働内容、社員ボランティア活動が組織・個人にもたらすインパクト等についてお話いただきました。



グラミン日本をハブに集まるメンバーが多いかと思いますが、グラミン日本以外のメンバー同士だけでも動くプロジェクトがでてくるような、フラットなコンソーシアムになっていくと面白いと思いました。



資金面での支援

グラミン日本は、日本の貧困者・生活困窮者に低利・無担保で少額融資を行い、起業や就労によって貧困から脱却するのを助けるマイクロファイナンス機関として、2018年9月に設立、事業開始いたしました。

これまでも多くの皆さまからご支援を頂きましたことに心より感謝申し上げます。さらに事業を遂行してまいりため、皆さまのご厚情、ご支援をお願いする次第です。頂きました貴重なご支援は、グラミン日本の事業運営のために大切に、また有効に使わせて頂きます。



寄付

オンラインで寄付を受け付けております。寄付いただいた資金は主にグラミン日本の事業運営に充てられます。詳しくは「**グラミン日本 寄付**」でご検索ください。

<https://grameen.jp/donation/>

基金

基金はグラミン日本の資本金に充てられます。「ユヌス・ソーシャルビジネス7原則」に基づき、配当は行っておりません。事業利益は主にグラミン日本の事業を改善・拡大するために使用いたします。

賛助会員

(団体・個人)としてのご支援

賛助会員は、グラミン日本とともにエコシステムを形作る「アンバサダー」であり「事業共創パートナー」です。会費に応じて、「パートナーコミッティ」への参画の権利など各種特典をご提供します。

グラミン日本の団体賛助会員について

団体賛助会員様は事業共創パートナー

類 型	募集対象等
プラチナパートナー (団体賛助会員プラチナ)	事業共創パートナーとなる団体(グラミン日本、アライアンス先企業・非営利組織と連携して、本業で共通価値の創造を行う先。企業、金融機関、団体等を念頭)
ゴールドパートナー (団体賛助会員ゴールド)	アライアンス先企業(就労先、フランチャイズ等を紹介する企業を念頭)。アライアンス先非営利組織(貧困解決、シングルマザー自立支援等に関与する非営利組織を念頭)
シルバーパートナー (団体賛助会員シルバー)	グラミン日本の活動に関心のある(支援したい)団体(企業、非営利組織等)。

グラミン日本の個人賛助会員について

個人賛助会員様はアンバサダー

類 型	募集対象等
個人賛助会員プラチナ	多額の支援を申し出てくださる篤志家の方などが対象。温かな気持ちにお応えするための多数のオプションを用意。
個人賛助会員ゴールド	多額の支援をいただいた個人の方などが対象。温かな気持ちにお応えするためのオプションを用意。
個人賛助会員シルバー	グラミン日本を支援してくださる幅広い個人の方などが対象。

グラミン日本をご寄付で
支援したい方はこちら

https://congrant.com/credit/form?project_id=1952



Partners & Supporters

支援者・支援企業一覧

企業 プロボノ支援 8社

Accenture、PwC、OliverWyman
丸井、第一勧業信用組合
シングルマザー支援協会、Luce
マカира

フィーチャードパートナー

accenture

アクセンチュア株式会社



気軽に温かみのある

第一勧業信用組合

第一勧業信用組合

丸井グループ

株式会社丸井グループ



NPO特定非営利活動法人
イエロー・エンジェル



一般社団法人

日本シングルマザー支援協会

一般社団法人
日本シングルマザー支援協会



都市に豊かさと潤いを

三井不動産

三井不動産株式会社



Water FinTech JAPAN
株式会社



PwC Japan 合同会社



協同労働の協同組合
労働者協同組合(ワーカーズコープ)

日本労働者協同組合
ワーカーズコープ連合会

プラチナパートナー

ジモティー

株式会社ジモティー



NIPPON Platform 株式会社

日立キャピタル

日立キャピタル損害保険株式会社



株式会社
スープストックトーキョー



株式会社Resta



Upward Together
UTグループ株式会社

ゴールドパートナー

Social Business
Dream Partners

一般社団法人
ソーシャルビジネス・
ドリームパートナーズ

Everyone's Dream
みんなの夢

公益財団法人
みんなの夢をかなえる会



ココネット株式会社

FACT

株式会社ファクト



ワイジェイFX株式会社



株式会社Luce



株式会社
セールスフォース・ドットコム



株式会社フリーダム

シルバーパートナー

おひさまエナジーステーション株式会社

株式会社船井総合研究所

株式会社ワークアカデミー

サポーター



マカира株式会社



株式会社meguri

クラウドファンディング CAMPFIRE

[50,000円]

荒木 英俊 田中 勇一
石川 大貴 田村 滋朗
石川 由季子 寺井 栄治
植野 蘭子 堂下 尚希
大橋 裕子 日野 雅生
勝木 征史 福原 学
亀田 圭介
菅正 広
兒玉 久実
下山 俊一
多賀 俊二

[100,000円]

相浦 圭太 竹田 哲之助
青木 照護 田中 晶光
榮川 和広 中井川 正男
大槻 佐智子 永田 智睦
尾立 愛子 西野 桂子
合田 真 野原 莞爾
後藤 俊夫 長谷部 和彦
坂田 昌鴻 飛渡 貴之
塩原 洋光 百野 公裕
嶋田 智之 山口 祐加哩
関野 太郎

[200,000円]

中内 綾

[300,000円]

岡本 真理子
柴田 誠

[500,000円]

藤村 行一

[1,000,000円]

木村 直人
名取 芳彦
西洞院 満寿美
山田 昌良

※一部、お名前が確認できなかった方々につきましては掲載を割愛させて頂いております。お心当たりの方はご連絡ください。

参加する

グラミン日本では、今後の運営を誠心誠意サポートしてくださるメンバーを募集しています。

ボランティア
登録

110人

例えば…

- グラミン日本へのプロボノやボランティアスタッフとして参加
- グラミン日本への寄付等の資金面での支援を通じた参加
- グラミン日本主催の各種ワークショップやイベント等の準備と参加
- グラミン日本の活動をSNSによる拡散などを通じてサポートしてくださる皆さま

グラミン日本の支援をご希望される方々向けに、サポーター説明会を開催しております。詳しくはホームページをご確認ください。

メンバーの 声

シングルマザーの自立支援のためにできることを考えていてグラミン日本に出会いました。支援の現場では、力不足で多くの気づきと学びをいただいていたのですが、活動を通じて視野が広がり、素敵な出会いと素晴らしい仲間と恵まれて、感謝しています。メンバーの皆さんが、グラミンのプログラムを通じて、やりがいのある仕事と支えあえる仲間を見つけて、前を向いてより幸せに暮らせるように、全力でお手伝いします！



富田 真知子 融資事業



加納 奈央子 広報・マーケティング

「愛とは、大きな愛情をもって小さなことをすることです」(マザー・テレサ)。
女性と子どもが幸せに生きていられる社会の実現を願って参加しました。「日本に貧困なんてあるの？」と言われることも多く、グラミン理念のアウトリーチの重要性を実感しています。小さなアクションの継続がいつか社会を変えていきますように。

発起人である菅会長との個人的な縁もあり、設立時から運営に参画させて頂いております。

世間では未だ「自己責任論」が振りかざされる事も多い中、グラミンでは5人組同士も含め、様々なステークホルダーが協力・連携して、個々人の課題を、ひいては社会課題を解決していきます。そんな点に強く賛同しているグラミンの日本での発足・IT等の仕組みづくり・拡大に、これからも微力ではございますが力添えさせていただきます！



近藤 純史 IT・システム



仲田 敏弘 コンプライアンス

私とグラミンの出会いは、2017年12月にグラミン日本を立ち上げるというニュースを目にしたのがきっかけでした。子ども達に対するボランティア活動を長らく続けていますが、その背景となるシングルペアレントへのサポートを、今までの金融の経験を生かしてお役に立つことができればとの思いでした。2018年4月頃から8月頃に貸金業登録のサポートし、今後もコンプライアンスとしてのお手伝いができれば幸いです。

ムハマド・ユヌスさんが、自ら創設したグラミン銀行と共に2006年にノーベル平和賞を受賞されたニュースを目にし、初めてその取り組みを知りました。その後出版されたユヌスさんの著作を読み、ユヌスさんが提唱されているソーシャルビジネスの考え方に共感し感銘を受けたことがグラミンに参加することになったきっかけです。貧困格差という社会課題の解決に向けて、引続きグラミンの仲間と手を携えて、一步一步進んでいけたらと思っています。



阪崎 史郎 内部監査



佐々木 喬史 事務局

就職氷河期世代で自分自身が苦労し、友人もフリーターを15年続けています。金融の仕事をしていましたが矛盾を感じ、再チャレンジできる世の中を作りたいと思っていた矢先にグラミン日本の立上げを知り参加しました。大きな目標に向かって小さなことから、素晴らしい仲間と活動できていることを誇りに思います。ユヌス博士も言うように、人は誰しもが可能性を秘めています。チャレンジする気持ちを応援したいです。

以前所属していたNPO法人の活動の中でグラミン日本の理事長である百野さんと出会い、目指すものの大きさに憧れて学生ボランティアを始めました。業種や業界を超えて社会課題解決の最前線に立とうとする志の高さと現状を捉えた戦略性の高さの両輪を持ち合わせているのがグラミン日本の何よりの魅力と感じています。確実にこれからの日本に必要なこのグラミン日本の価値が1人でも多くの人に届くことを願っています。



橋谷 潤 学生インターン

Financial Outcomes

財務状況

貸借対照表
2019年9月30日現在

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	19,640,292	14,458,121	5,182,171
前払費用	702,926	371,232	331,694
未収消費税	1,210	91,196	-89,986
短期貸付金	131,701	-	131,701
流動資産合計	20,476,129	14,920,549	5,555,580
2. 固定資産			
(1) その他の固定資産			
建物附属設備	1,139,089	1,762,333	-623,244
一括償却資産	293,243	343,817	-50,574
敷金	3,817,308	1,908,654	1,908,654
長期前払費用	20,031	28,304	-8,273
その他固定資産合計	5,269,671	4,043,108	1,226,563
固定資産合計	5,269,671	4,043,108	1,226,563
資産合計	25,745,800	18,963,657	6,782,143
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	28,762	280,695	-251,933
未払費用	964,019	25,544	938,475
前受金	3,972,000	3,804,000	168,000
預り金	20,880	20,880	-
流動負債合計	4,985,661	4,131,119	854,542
負債合計	4,985,661	4,131,119	854,542
III. 正味財産の部			
1. 基金			
基金	16,020,000	6,000,000	10,020,000
2. 一般正味財産			
一般正味財産残高	4,740,139	8,832,538	-4,092,399
正味財産合計	20,760,139	14,832,538	5,927,601
負債及び正味財産合計	25,745,800	18,963,657	6,782,143

正味財産変動計算書
2018年10月1日から2019年9月30日まで

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益	16,431,321	2,380,567	14,050,754
受取会費	11,620,000	-	11,620,000
事業収益	147,136	1,004,631	-857,495
受取寄付金	4,664,000	1,375,896	3,288,104
雑収益	185	40	145
(2) 経常費用	20,526,537	3,288,218	17,238,319
事業費用	7,912,450	-	7,912,450
管理費用	12,614,087	3,288,218	9,325,869
当期経常増減額	-4,095,216	-907,651	-3,187,565
2. 経常外増減の部			
(1) 経常収益	2,817	-	2,817
(2) 経常費用	-	-	-
当期経常外増減額	2,817	-	2,817
当期一般正味財産増減額	-4,092,399	-907,651	-3,184,748
一般正味財産期首残高	8,832,538	9,740,189	-907,651
一般正味財産期末残高	4,740,139	8,832,538	-4,092,399
II. 基金増減の部			
基金期首残高	6,000,000	5,000,000	1,000,000
基金受入額	10,020,000	1,000,000	9,020,000
基金期末残高	16,020,000	6,000,000	10,020,000
III. 正味財産期末残高	20,760,139	14,832,538	5,927,601

Media & News

メディア掲載情報

2018/10～2019/9

「新時代の金融は「共感の連鎖」から生まれる」
サステナブル・ブランド ジャパン (2019年4月2日)

「科学と社会の関係語る」
(沖縄タイムス2019年3月17日)

「グローバル・ピース・ダイアログ沖縄2019の実施」
外務省 (2019年3月15日)

「専用求人サイトや無担保融資 シングルマザーの就労支援 経済的自立を後押し」
京都新聞 (2019年1月9日)

「専用求人サイト、無担保融資… シングルマザー就労に支援の輪」
東奥日報 (2019年1月9日)

「日本橋ホールで「TEDxNihonbashi」幅広い登壇者がアイデア共有」
日本橋経済新聞 (2018年11月30日)

「グラミン日本が設立された理由」
朝日新聞出版 月刊ジュニアエラ (2018年12月増大号)

「貧困解消へ就労を支援」
中日新聞 (2018年12月2日)

「貧困の連鎖を終わらせたいグラミン日本・菅正広理事長」
ZAKZAK (2018年11月6日)

「MFで貧困のない社会へ」
ニッキン (2018年11月30日)

「グラミン銀行日本版を設立した」
北海道新聞 (2018年10月31日)

History

沿革

- | | | |
|-------|------|---|
| 2017年 | 2月 | <ul style="list-style-type: none"> グラミン銀行創設者 ムハマド・ユヌス博士が講演のため来日。菅正広教授(明治学院大学大学院)とグラミン日本設立について合意。 |
| | 8月 | <ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人グラミン日本準備機構設立(理事長・菅正広) |
| 2018年 | 4・5月 | <ul style="list-style-type: none"> 全国5か所(札幌、東京、名古屋、大阪、福岡)でワークショップ開催 |
| | 5月 | <ul style="list-style-type: none"> クラウドファンディングにより1,000万円以上の資金を調達 |
| | 8月 | <ul style="list-style-type: none"> 貸金業登録交付(東京都) |
| | 9月 | <ul style="list-style-type: none"> 一般社団法人グラミン日本設立、事業開始 第1回ボランティア説明会開催 |
| | 10月 | <ul style="list-style-type: none"> 第1回メンバー(グラミンローンの借り手)説明会開催 第1回グラミン日本 SDGs コンソーシアム説明会開催 |
| 2019年 | 1月 | <ul style="list-style-type: none"> グラミン日本 SDGs コンソーシアム 開催 |
| | 3月 | <ul style="list-style-type: none"> 日本シングルマザー支援協会主催の合同セミナー「協会プレグラミン」を開始 ボランティアが約100名に、支援企業が約30社に |
| | 4月 | <ul style="list-style-type: none"> 丸井グループ、SMBCグループから 出向社員受け入れ 第1号融資(IT 資格学校授業料として) |
| | 6月 | <ul style="list-style-type: none"> 第2回グラミン日本 SDGs コンソーシアム 開催 |
| | 7月 | <ul style="list-style-type: none"> 第2号融資(まちおこしビジネスの起業費用として) |
| | 9月 | <ul style="list-style-type: none"> 設立一周年。支援者にグラミン日本1周年を報告 |
| | 10月 | <ul style="list-style-type: none"> 役員改選。菅 正広 理事長が会長に、百野 公裕 理事が理事長に就任 |

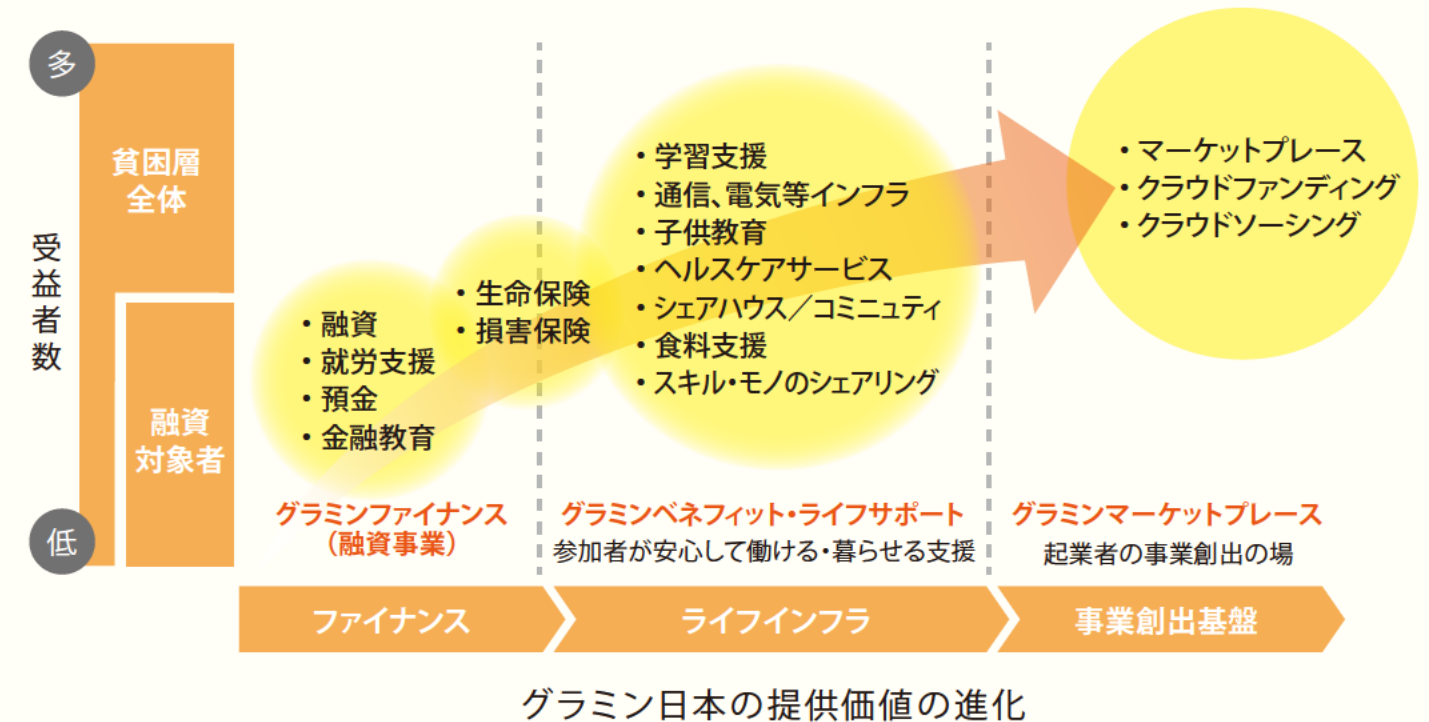
Future Outlook

今後の展望

グラミン日本のエコシステムの 中長期拡大ステップ

ファイナンスを皮切りに、パートナー各社と連携し
福利厚生・生活支援・事業創出基盤まで提供価値を広げ、
貧困層の自立～起業ステージまでワンストップで支援してまいります。

【ロードマップ】



About Us

会社概要

団体名 一般社団法人 グラミン日本
所在地 〒103-0027東京都中央区日本橋1丁目8番3号 第4江戸橋ビル 5F
電話番号 03-3516-2890
登録番号 東京都知事(T1)第31700号 日本貸金業協会会員 第006047号
HP <https://grameen.jp/>

名誉会長	ムハマド・ユヌス博士	監事	井上 陽
理事長	菅 正広	監事	大倉 然
理事	百野 公裕	顧問	根本 剛史
理事	白瀧 征人	顧問	江成 道子
理事	兒玉 久実		
理事	シェーファー・平ダーヴィッド		

【アドバイザリーボード】

青 井 浩	株式会社丸井グループ代表取締役社長
鵜 尾 雅隆	認定NPO法人日本ファンドレイジング協会代表理事、GSG日本諮問委員会副委員長
榮 川 和広	弁護士
神 永 晋	元住友精機工業株式会社代表取締役社長
北 原 義一	三井不動産株式会社代表取締役副社長
佐 藤 慎一	第一生命経済研究所特別顧問、元財務省財務事務次官
鈴 木 敦子	NPO法人ETIC.理事兼事務局長
中 内 綾	一般社団法人アフリカ協会理事
中 村 誠司	中央電力株式会社代表取締役
新 田 信行	第一勧業信用組合理事長
丹 羽 恵久	ボストン・コンサルティング・グループ Managing Director & Partner
原 丈 人	アライアンス・フォーラム代表理事、デフタパートナーズグループ会長
藤 沢 久美	シンクタンク・ソフィアバンク代表
古 村 伸宏	日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会理事長
安 井 正樹	PwCコンサルティング合同会社 パートナー

【2019年9月30日現在】(あいうえお順、敬称略)



編集 / 奥谷 知未

貧困のない、
誰もが生き活きと
生きられる社会へ



一般社団法人 グラミン日本 第4期 事業報告書



GRAMEEN
NIPPON

contents

- P2 グラミン日本が目指す社会
- P3 - 4 グラミン日本が考える、「貧困問題」への取り組み
- P5 - 6 互助グループを支えるコレクティブインパクトによる自立支援

《融資事業》

- P7 - 8 マイクロファイナンスについて
- P9 - 10 起業者の声

《支援活動》

- P11 グラミン日本へのご支援について
- P12 [連携] ・明治大学のゼミでのソーシャルビジネスプログラム
- P13 ・船橋市での取り組み
- P14 ・みんな電力×グラミン日本による「グラミンでんき」
- P15 ・「のわみ相談所」および「NPO法人わっぱの会」と
 共同で起業・就労支援活動を実施（愛知県）
- P16 ・コロナ禍で困窮する若者・ひとり親の経済的自立支援の
 強化へREADYFORでのクラウドファンディングを開始

- P17 - 18 [資金] 資金面での支援について
- P19 - 20 支援者・支援企業一覧

- P21 - 24 [参加] サポーターの声
- P25 - 26 企業プロボノの声

- P27 第4期（2020年9月期）財務状況
- P28 メディア掲載情報
- P29 沿 革
- P30 会社概要
- P31 - 32 グラミンとは？
- P33 理事長ごあいさつ



貧困のない、 誰もが生き活きと 生きられる社会へ

私たちは、働く場所があるということが真の意味で人を貧しさから救う、
そして融資資金はそのための種(シード)になると考えています。

グラミン日本は、開発途上国のみならず、
欧米先進国でも貧困削減に効果を発揮しているグラミン銀行の日本版で、
日本の実態にあった方法で運営しています。

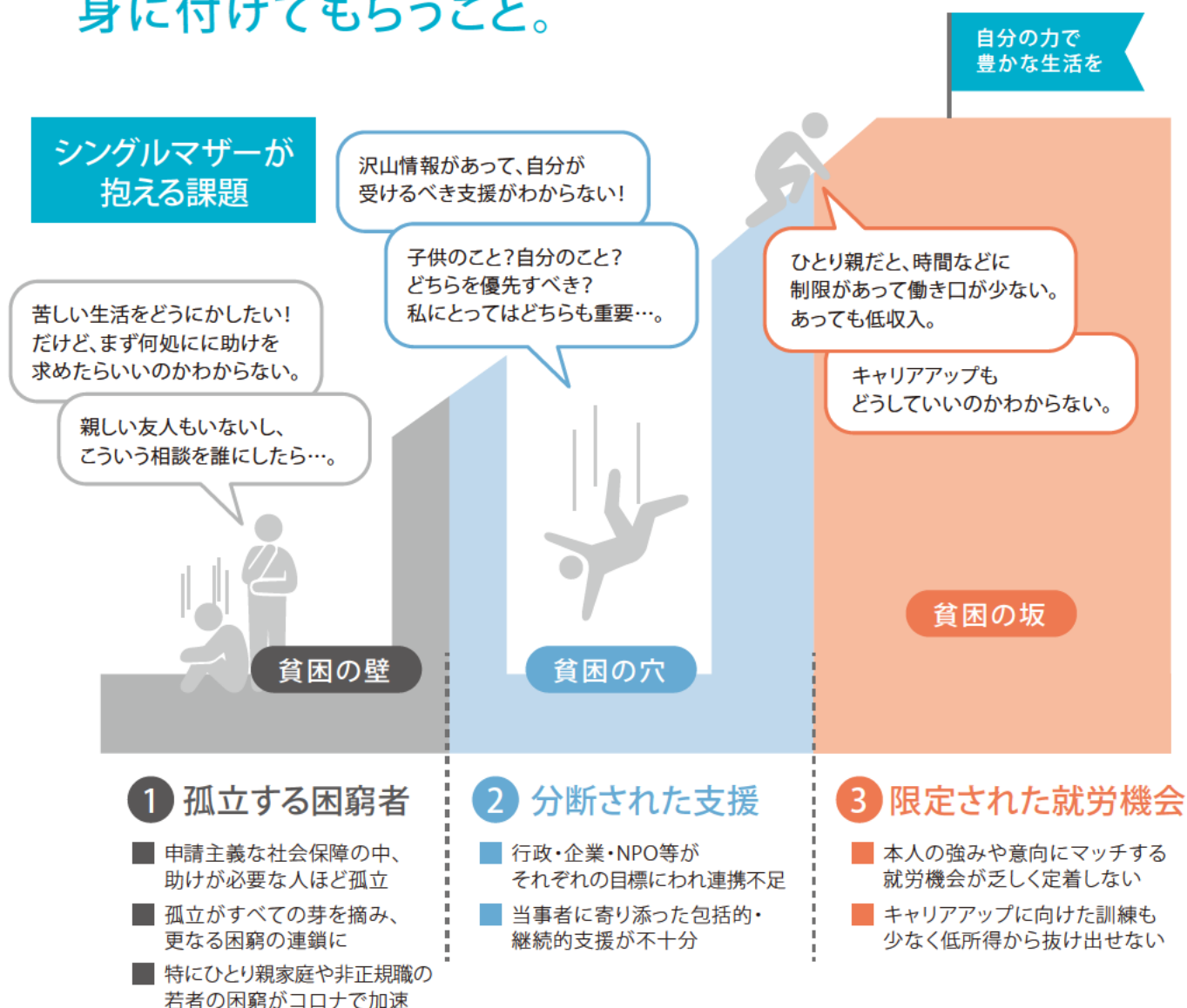
貧困のない、誰もが生き活きと生きられる社会をつくりたい、それが私たちの想いです。

グラミン日本が目指す社会

- 1 貧困・生活困窮に陥った時、そこから脱却する助けがセーフティネット／ソフトインフラとして整備されている社会
- 2 生業的な起業(プチ起業/小商い)が普通にできる社会
- 3 Job SeekerよりJob Creatorが活躍できる社会
- 4 地域・コミュニティがお互いに助け合い、共感のある社会
- 5 ユネス・ソーシャルビジネス7原則(*)が実践される社会
- 6 会社が、株主だけでなく経営者、社員、取引先、顧客、地域・コミュニティなど全ステークホルダーに貢献する社会

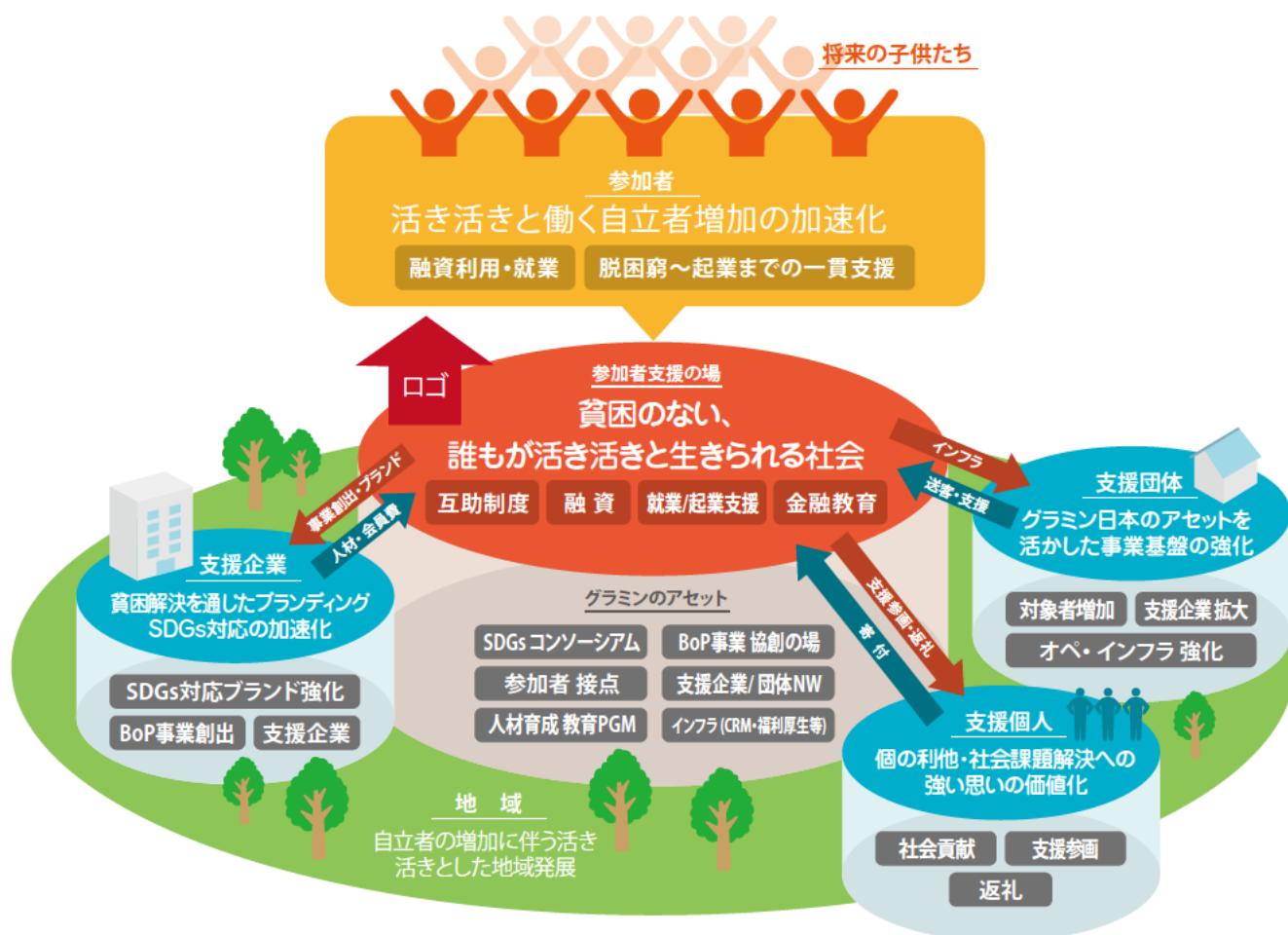
グラミン日本が考える、 「貧困問題」への取り組み。

単なる「お金の支援」ではなく、大切なことは、
貧困から「持続的」に抜け出す力を
身に付けてもらうこと。



**ワンストップで「自力」をサポート！
それが、グラミン日本の目指す支援。**

グラミン日本が描くエコシステム



【ロードマップ】



グラミン日本の提供価値の進化

互助グループを支える コレクティブインパクト^{※1}による 自立支援。

課題

マイクロファイナンス^{※2}をフックに、5人一組の互助グループを形成し、
金融教育や社会的資本の補完に向けた当事者コミュニティを形成・維持

マイクロファイナンス

5人1組の互助グループ
形成を通じた金銭的・
社会的資本の付与・金融教育

デジタル関連のスキルアップトレーニングや、
就労に向けたマッチングシステムを活用したキャリアアップの実現

直接支援

カウンセリング

裨益者に寄り添った面談・コミュニティ形成

トレーニング

次世代を見据えたデジタル関連訓練

マッチング

グラミン日本ならではの、強みを活かせる多様な就労機会の提供

ビッグデータを活用したインパクトの分析・評価やデータに基づく
アドボカシー（世論形成）、ソーシャルインパクトボンド^{※3}組成等を行い、直接支援を強化

間接支援

指標の測定と効果の評価

ビッグデータやAIを活用した互助グループ・支援エコシステムの分析・改善

情報発信と世論喚起

マルチメディアを活用したコレクティブインパクトに向けたシステム全体との対話

ソーシャルビジネスに適した資金調達

ソーシャルインパクトボンドなどを活用した成果重視かつ持続可能な財源確保

※1 企業とNPO、行政などが共通の目標を設定し連携して課題解決に当たるアプローチのこと

※2 貧困や生活困窮の状態にある方々に低利・無担保で少額の融資を行うこと。

※3 民間団体が投資家から調達した資金をもとに公共サービスを提供し、その成果に応じて政府や自治体から報酬が支払われて投資収益に反映されるスキームのこと

マイクロファイナンス

目的	活動内容	協業パートナー
● 互助グループ形成による孤立化の防止	☐ マイクロファイナンスをフックに、5人1組の互助グループを形成し社会的資本を補完	SMBC日興証券株式会社 金融包摂の強化
● 金融サービスへのアクセス機会の改善	☐ お金の使い方や起業に向けた金融教育も提供	Septeni Japan株式会社 SNSを通じた裨益者とのコミュニケーション強化
	☐ 互助グループの繋がりにより、行政やNPOの支援から漏れてしまう困窮者にもリーチ	アクセンチュア株式会社 チャットボット等を活用した裨益者とのコミュニケーション強化
	☐ 互助グループを超えて裨益者同士が繋がり、相互に支え合えるコミュニティにも発展	

マッチング
トレーニング
カウンセリング

マッチングプラットフォームを活用したキャリアアップを、
ワンストップで実現していく

目的	活動内容	協業パートナー
● 自己肯定感・効力感の向上	☐ 裨益者の強みや意向に沿った多様な働き方の提供と人材マッチング支援	デロイトトーマツコンサルティング 合同会社 RPA*1等のデジタル関連 トレーニングの設計
● スキルアップによる起業・就労機会の拡大		SAPジャパン株式会社 人財マッチングプラットフォームの提供 (SAP Fieldglass)
● 仕事の定着・所得の向上		ランサーズ 人財マッチングプラットフォームの提供 (SAP Fieldglass)

*1: Robotic Process Automation (業務自動化ソフトウェア) の略。

指標の測定と効果の評価

情報発信と世論喚起

インパクト重視の資金調達

目的	活動内容	協業パートナー
● 進捗・成果の見える化	☐ 人財マッチングプラットフォーム上に蓄積された互助グループや支援エコシステムのデータを基に、進捗・成果をモニタリング・評価	SAPジャパン株式会社 ビッグデータの基盤構築・AIを用いたアナリティクス
● 強固な地域エコシステムの構築	☐ データを基に困窮者の自立に向けたNPOや企業、自治体等の対話の場を設け、地域の多様な働き方に対するメンタルモデルの変容を促進	PwC コレクティブインパクトの牽引
● 持続可能な財源確保	☐ ソーシャルインパクトボンドなどを通じて、成果重視のマルチセクター連携を強化し、持続可能な財源を確保 ※休眠預金資金を活用し支援プログラムを構築し、それらを基に行政とSIBの成功事例も事業期間内に創出を企図	デロイトトーマツコンサルティング 合同会社 ソーシャルインパクトボンドの組成・インパクト評価

《融資事業》

マイクロファイナンスについて

生活が困窮している状態では、今を生きることには焦点があたり、
将来の生活向上につながる行動が不十分となりがちです。

既存の支援制度も当面の生活支援に主眼が置かれ、
 自立支援の取り組みも十分には行き届いていないのが現状です。

マイクロファイナンスとは

貧困や生活困窮の状態にある方々に低利・無担保で少額の融資を行い、
 こうした方々が起業や就労によって貧困や生活困窮から脱却し自立するのを支援します。

支援の流れ

グラミン日本では、働く意欲はあっても今はお金がない方々に、
 自立のための**少額の融資と就労機会・起業支援をワンストップ**で提供いたします。



メンバーとなる条件

● 現在の収入が一定ライン(※)以下の方

※生活保護基準の1.8倍以内が目安。地域や世帯構成によって異なります。

● 5人一組のグループで互いに信頼しあい、助け合うことができる方

5人一組の互助グループは、グラミン・メンバーの基本単位です。互いに監視することが目的ではなく、信頼関係に基づいて仲間と一緒に支えあって頑張っていくコミュニティです。

● 規律を守れる方。

センターミーティング(5人一組のグループの会合)に参加できる方

プチ起業を目指す方へのワークショップ

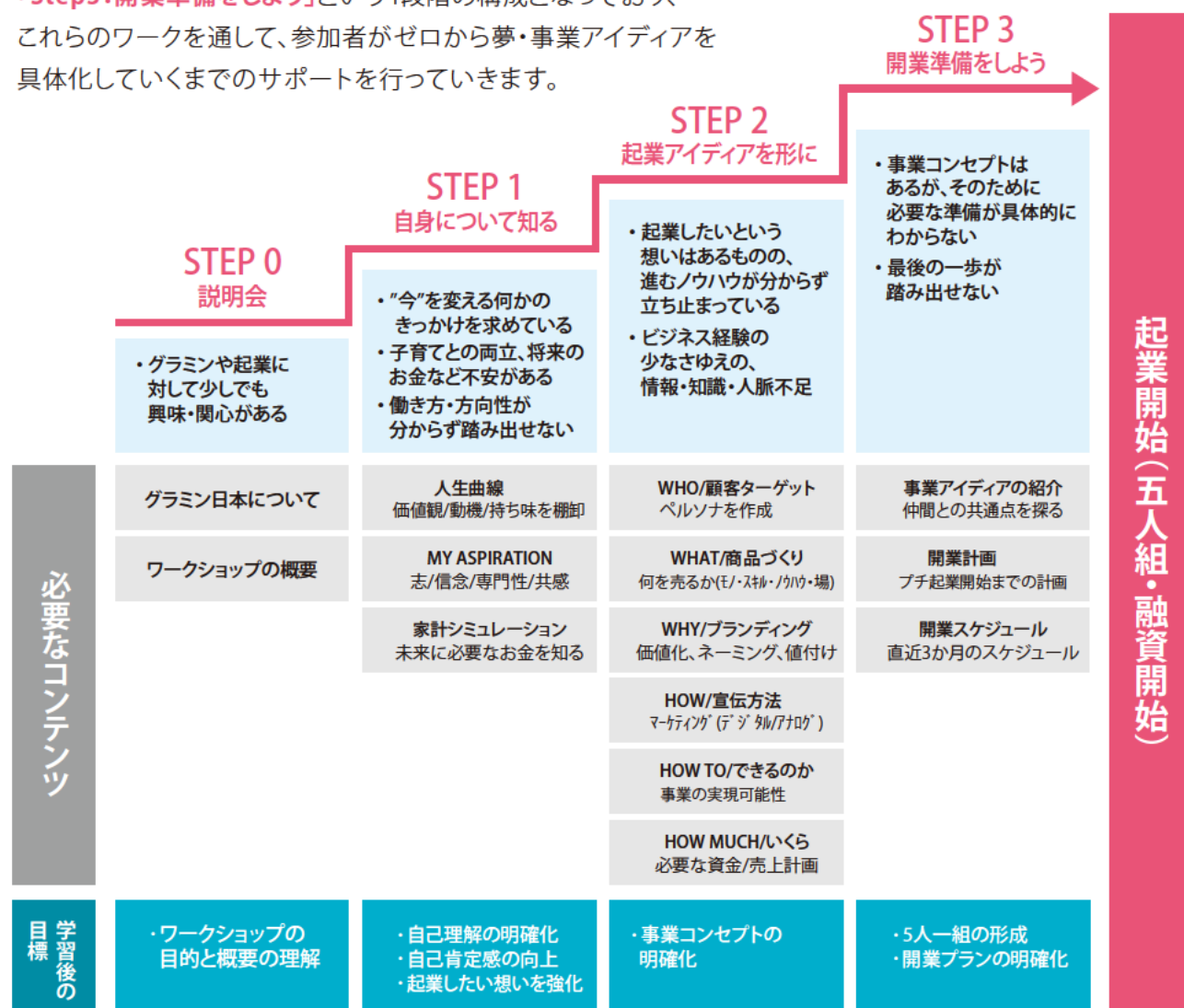
グラミン日本では、アクセンチュア、SMBC日興証券と共に、

プチ起業を目指す方向けの起業を目指す方へのワークショップを企画・実施しました。

ワークショップは「Step0:説明会」をはじめ、「Step1:自身について知る」、「Step2:起業アイデアを形に」

「Step3:開業準備をしよう」という4段階の構成となっており、

これらのワークを通して、参加者がゼロから夢・事業アイデアを具体化していくまでのサポートを行っていきます。



《融資事業》 起業者の声



「働き続ける」という選択がある

せやさん 55歳

仕事・老後・将来の事など不安がたくさんあり日本シングルマザー支援協会に相談した際、グラミン日本を紹介されました。

これまでは、個人事業主といえどお金のことはまるっきり苦手で向き合ってきませんでしたが、グラミンの金融教育を通じてお金の大切さや学べる楽しさを知りました。周囲からのフィードバックや評価で自信もつき、スキルの掘り起こしにもつながりました。参加することにより気持ちも成長して、自分で判断する力が身に付きました。

自信を持つ。自分のこれからする事に信念を持つ。これが、今の私が大切にしている価値観です。この機会がなかったら、私は埋もれたままでした。引き上げてくれて、ありがとうございます。

美容と健康関連の仕事に長年携わってきました。現在は幹細胞・プラセンタ化粧品のオリジナルブランドの販売とヘッドリラクゼーションを取り扱っています。自分でも簡単に癒しができる「おでこセラピー」も手がけようと考えています。



一緒に考えてくれる人がいる安心感

遠藤 ひろみさん 46歳

個人事業主としてイラストを描く仕事をしていましたが、何年もやっているのに利益が出ていない働き方でした。離婚が決まり、イラスト事業では食べていけないのではとシングルマザー支援協会に相談したところ、グラミン日本への参加を勧めていただきました。

グラミン日本のイベントに参加して金融トレーニングや事業運営について勉強しているうちに、自分でも出来るんじゃないかと勇気が湧いてきて、自然とメンバーになっていました。一人になるとくじけそうな時もありますが、励まし合える仲間と、相談できるミーティングの場が心強いです。

グラミンの活動は私自身が変わるきっかけになり、本当にありがたいと思っています。自分の事業が形になる

ようにまだまだ頑張ります。

亡くなった時に飾るご遺影のイラストサービス「遺し絵」をしています。

イラストを提供するというよりも、見る人の心が癒されることに重きを置いた「イラストのセラピー」です。遺影の写真を飾るのは、故人の顔を悲しくて辛くて見ることができないというご家族の方から似顔絵を描いてほしいという依頼で始めました。

ご遺族の方は、故人の方をイラストにすることで柔らかい印象で向き合うことが出来ますし、終活中の方は自分の似顔絵と向き合うことでモチベーションが上がって自己肯定感を高めてもらうことが出来ます。



偏見のない環境だから 進むことができた

Nさん 41歳

以前からユヌスさんやグラミン銀行の存在は知っており興味がありました。子供を産みシングルマザーになってからは、起業塾や経営セミナーのような場所に行くことすら怖くなり、シングルマザーの起業など理解されなかった事もあり諦めていました。

そんな時、日本シングルマザー支援協会経由でグラミンが日本にもあることを知り感激し、サポートを受けたいと思いました。子供連れでの参加もむしろ歓迎され、他のお子さんが面倒を見てくれたりして私も

集中して参加することが出来、こんな場があるんだと嬉しくなりました。メンバー同士で自分にはない知識やアイデアを出し合え、子育てや仕事などでメンタル不調になった時も、励まし合えているので、みんなに出会えて良かったです。

シングルマザーでも、このような機会に出会えた事、恵まれた事、感謝しております。

外国の方向けに、日本の伝統着物である色打掛の販売・着付け・写真・ビデオ撮影などを提供しています。



良い意味で現実を見ました

金子 龍太さん 21歳

私は2019年の夏に起業を決意したときに、やりたいことは決まっていなくても何をしたいかわからず、何度も挫けていた時にグラミン日本に出会いました。

実際にグラミン日本の研修に参加すると、どうプロダクトや事業を磨いていくのかに視点を置いて利益度外視で親身になって相談に乗ってくださりました。単なるノウハウではなく、実務ベースで多くのことを学

べ、良い意味で現実を見ました。

現在は「OSUSOWAKE」という親から子に規格外野菜を安価で仕送るサービスを立ち上げ中で、4人の仲間と事業の準備を進めています。

夢を追う人は周りから否定されることもあると思いますが、夢を実現するために、グラミン日本の活動に飛び込んでみてもいいと思います！



仲間との出逢いが、 頑張れる源に

岡 春翔さん 20歳

やりたいビジネスがあっても何から始めればいいのかわからない状況で、グラミン日本の皆さんは知識を教えてくれるだけでなく、ついた知識をより実践的に使う方法を教えてくださいました。グラミン日本の研修に参加して一番感じたのは、自分のやりたいことを認め、リスペクトしてくれ、決して否定しない人たちがい

るということでした。そんな仲間と出会えたことがすごく嬉しいですし、私が頑張れる源になっています！

現在は「AIOON」という環境に配慮したオーガニックコットン素材のファッションブランドを立ち上げ中です。今の私ができるのは、グラミン日本の本気のサポートに本気で応えて進むことだと思っています！

《 支 援 活 動 》

グラミン日本へのご支援について

グラミン日本の3方向への支援活動

連 携

資 金

参 加

連 携する

生活困窮者や子供の貧困などの状況を把握し支援をされている団体や自治体と情報共有し、企業のノウハウやリソースも活用しながら、グラミン日本を触媒としてコレクティブインパクトのアプローチで問題解決に向けて真摯に向き合い、より効果的な実施を実現したいと考えています。

目指す姿

支援企業等との連携による生活困窮者の自立支援を持続させる仕組みの構築

		会員のニーズ	グラミンの貢献
創出 新規事業	A ソーシャルビジネス協創	SDGsのトレンドも踏まえ 新規事業を創出し、貧困層の活躍機会を拡大したい	現場ニーズの把握、NPO やSDGs に関心のある企業等多様なパートナーとの連携推進
既存事業強化	B インクルージョン&ダイバーシティ促進	ダイバーシティ人材提供	グラミンプログラムへの参加者を労働者として派遣
	I&D推進人材育成	自社社員にダイバーシティ&インクルージョンを経験させたい	
	C SDGs 対応ブランド強化	貧困問題解決に通ずる価値観・自社理念を発信したい	融資事業・ソーシャルビジネス実践の場を通じた人材育成機会の提供
			ノーベル平和賞受賞等により貧困脱却の分野でトップの知名度を持つブランドの活用

明治大学のゼミでのソーシャルビジネスプログラム

グラミン日本は明治大学の小川ゼミナールと協力し、約4カ月にわたり、ソーシャル・ビジネス・プログラムとして貧困の実態調査およびグラミン日本の事業戦略立案を実施しました。本プログラムには明治大学小川ゼミナールの学生のみなさんが参加し、このプログラムを通して学生の方々はゼミナールで得たマーケティングの知識や手法を実践に移す機会を得ることができました。

主な活動内容は、

- グラミン日本の下調べ
- 貧困の実態調査から当事者である貧困層へのヒアリング
- 支援ターゲットとなる人材のペルソナ策定およびペルソナ別の事業施策を立案
- グラミン日本理事長の百野への最終プレゼン

初期調査では2000万人と言われている日本の貧困層の内訳を明らかにするためにリサーチを実施し、当事者へのヒアリングではNPO団体主催の学会に参加したり、貧困層支援団体での当事者へのインタビューを実施。ヒアリング後はインタビューや実態調査の結果をもとに、支援ターゲットとなる5つのペルソナを策定しました。最終的にはペルソナ毎に

最適な事業支援内容を立案し、事業展開ロードマップを策定した上で理事長の百野にプレゼンを行ったという学生のみなさん。小川ゼミ独自の視点で日本の貧困問題の構造を考察することができたことと、ヒアリング・調査⇒課題抽出⇒ペルソナ策定⇒事業戦略立案⇒プレゼンという、一連のマーケティング手法を実践の場で活用することができたのは大きな成果だったと話されていました。

ゼミのメンバーである折戸さんは「グラミン日本様とのプロジェクトを通じて、貧困に対する意識の変化、企画やプロジェクトの進め方を把握する足掛かりを作る事が出来たと考えています」と話されており、「正直自分は一般的な「貧困」とは遠いところで生活をしてきました。いつもニュースや論文などで貧困について問題提起が為されても、なんとなく他人事の様な気がしていました。しかしプロジェクトを進める中で「貧困」と一口に言っても捉え方は様々で、更に様々な方にヒアリングを行う中で、貧困は身近に存在している事を実感し、より当事者意識を持って問題意識を持つ事ができる様になったと考えています」と本プログラムを振り返っています。

グラミン日本は今後も教育現場と連携しながら、ソーシャル・ビジネスに若者が触れる機会を創出することに力を入れていきます。



船橋市での取り組み

グラミン日本は、船橋市と共にシングルマザーや若年者の生活困窮などを解決していくための仕組みづくりを検討しています。具体的には、市場カフェをはじめとした市内の「場」を活用してコミュニティの中に埋れている「課題」を洗い出し、グラミン日本が提供する金融教育のワークショップと掛け合わせて地域が抱える課題を解決する仕組みを構築していきます。

このワークショップは定期的を開催することを予定しており、金融教育に関連する資料もグラミン日本が貸し出すことで船橋市内でも起業家を教育者として育てていく取り組みも並行して実施していくことを検討しています。

グラミン日本と共に船橋市での取り組みをリードする山崎さんは「グラミン日本のプログラムでは基礎的なことを丁寧に教えてくれるので『これから何かを始めたいのかわからない』や、『何から手をつけていいのかわからない』という人にとっては有効なプログラムだと感じている」と話されています。山崎さんは13年間船橋市内でタウン誌とローカル

ニュースの編集を担当されてきたご経験があり「街にある『貧困』についての実態を何度も目にしてきた」と話されています。また「そうしたものは課題として解決していくと同時に、誰かの事業を生み出していく事と並行・連動していかなければダムに開いた穴のようになる。次々にいろいろな原因で貧困が生まれますが、その多くが「知らないから」という原因であることが多いように思います。だからこそ、ワークショップを通して起業家教育を提供し、事業を作ること、お金について知ること、働くということについて地方の市民が学ぶ機会があれば、地域レベルをあげることができ、ひいては日本も変わっていくと信じています。」と力強く語られていました。

グラミン日本は大都会だけでなく、地域での活動にも力を入れており、これまで以上にワクワクする新しい世界を創るという強い使命感を抱きながら経済的自立に向けて苦しんでいる状況にある人に、これからも寄り添った支援をしていきます。



みんな電力×グラミン日本による「グラミンでんき」

生活に困っている方へ

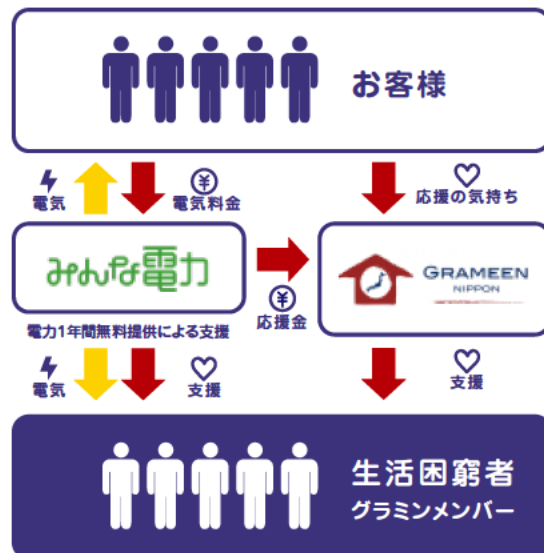
電気代の心配することなく、新しいチャレンジへ

自立への足掛かりの一つとして、グラミン日本の
支援対象者(グラミン・メンバー)の
1年間の電気代を、みんな電力が無料にします。

支えたい方へ

電気を切り替えることで、生活に困っている方を支援

ご自宅の電気を「グラミンでんき」に切り替える
お手続きだけで、電気代のうち毎月100円をみんな電力から
グラミン日本にお届けします。これにより手間なく
継続的にグラミン日本をご支援いただけます。



「誰もが電気をつくって売ることができたら、富の分散につながり、貧困の解消にもつながる」という思いをもとに創業したみんな電力と、グラミン日本が持つ「貧困の解消」という共通の理念を実現するために、両者の事業を掛け合わせたソーシャル・ビジネス「グラミンでんき」をリリースしました。

「グラミンでんき」概要

① 応援の気持ちを毎月100円寄付で形に

自宅の電気を「グラミンでんき」に切り替えることで、毎月の電気料金から100円を、生活困窮者に低金利・無担保で少額融資を行うグラミン日本に寄付できます。生活が苦しい方たちの自立を応援する気持ちを、簡単かつ継続的な方法で形にすることができます。

② 生活困窮者としてグラミン日本の支援プログラムを受け、

さらに自宅の電気を「グラミンでんき」に切り替えた方は、電気料金が1年間無料になります。

電気料金の心配をすることなく、起業や就労の準備に打ち込むことができます。またグラミン日本の支援を通じて経済的自立を実現した方は、「グラミンでんき」を継続して利用いただくことで、今度は生活困窮者の支援をする側として毎月100円寄付を行うことができます。

③ 供給されるのは再エネ由来の電力

1. 2. のいずれの場合も、「グラミンでんき」契約者はFIT電気+再エネ比率75%の「スタンダードプラン」または再エネ比率100%の「プレミアム100プラン」から契約プランを選ぶことができます。グラミン日本の取り組みに関わりながら、みんな電力の強みである再エネ電力を利用することで気候変動の要因といわれるCO2の削減に貢献することができます。

グラミンでんきは生活困窮者を支援しつつ、CO2削減にも皆で貢献し、実際にグラミン日本の融資対象になっている方は電気代が無料になるという画期的なビジネスモデルです。今後もグラミン日本はこのようなソーシャル・ビジネスを様々な企業と連携しながら仕掛けていくことを検討しており、みなさまのご支援がその共創を可能にします。

「のわみ相談所」および「NPO法人わっぱの会」と 共同で起業・就労支援活動を実施（愛知県）

生活資金を提供する「ソーネ基金」は、「のわみ相談所」や「わっぱの会」等、様々な個人・団体と共に設立されたもので、就労・起業のための融資するグラミンローンとの相乗効果が見込まれるため、起業に向けてのワークショップを共同で開催しました。

「グラミン懇親会」と呼ばれているこのワークショップは、のわみ相談所の協力のもと選ばれた5人グループの融資候補者の方々向けに実施されており、それぞれの夢を実現する上で必要なスキルやノウハウを学ぶコンテンツとなっています。一時コロナの影響で中止となっていました。7月よりワークショップの運営が再開され、9月に実施された「プチ起業ワークショップ」では各参加者の人生の曲線、Ethos/Pathos/Logosを発表し、フィードバックを受けるといったセッションを実施したところ、「メンバー間での大きな発見や共感が生まれ、一つの転機になった」とグラミン日本の名古屋拠点での地域事業をリードする関野さんは話しています。

各メンバーはグラミンローンを通して自営業での運転資金、就労のための資格取得を目指しており、起業ワークショップは、融資に向けた事業計画書作成において、他メンバーとの議論を重ねて内容を深掘りする場となっています。

また、NPO法人わっぱの会と共に取り組む事業立ち上げ支援は障がい者の方を対象とする予定で、融資候補者選定に向けて5人一組の互助グループ結成に向けた課題克服のための話し合いが行われる予定です。

関野さんは「生活困窮者は新型コロナウイルス感染拡大の影響で増加基調にあります。今後は愛知県内で体制を整備して連携団体を増やし、グラミン日本で少しでも多くの困窮者を支援すべく、活動を続けていこうと思っています」と話されています。新型コロナウイルスの影響で先に見えない状況になっている今だからこそ、マイクロファイナンスが必要とされています。



コロナ禍で困窮する若者・ひとり親の支援強化に向け、READYFORでのクラウドファンディングを開始

グラミン日本はコロナの影響に苦しむ方々に寄り添うプロジェクトとして、日本初・国内最大のクラウドファンディングサービス「READYFOR」で、「グラミン日本 コロナで困窮する若者・ひとり親の未来を守る。」のクラウドファンディングを開始しました。2020年8月14日(金)より11月11日(水)まで、1,000万円を目標に寄附を募りました。

いただいた支援金により

- ① 求職者と求人企業の人材マッチング
 - ② マイクロファイナンスの融資原資
 - ③ 起業ワークショップの開催
- を実施します。

実施の背景として、新型コロナウイルスの影響により、若者やひとり親を中心に多くの方々が職を失い、苦しんでいるという背景がありました。

- 会社が派遣切りを行い、契約を切られた。新たな就職先が見つからず、日々の生活にも困っている。(派遣社員・28歳)
- 就活を始めた矢先にコロナのために、前途をふさがれた、何社にコンタクトしても採用されない。アルバイトも解雇された。(学生・20歳)
- 会社から解雇され、子どもを抱えて途方に暮れている。(シングルマザー・32歳)

グラミン日本は、「わたしたちの未来への先行投資」をスローガンに掲げ、多くの企業、個人のボランティア・プロボノの専門家などのご支援を受けて活動をしており、今回のコロナ禍で、多くの企業や専門家の方々から就労・起業支援の提供について申し出をいただきました。グラミン日本が持つさまざまなサポーターの皆様との連携を通じて就労・起業による経済的自立支援を強化し、新型コロナ禍に苦しむ方々に寄り添いながら、「苦境からの脱出」と、「新しい生活の実現」に取り組んでいきます。

プロジェクト概要

名 称	グラミン日本 コロナで困窮する若者・ひとり親の未来を守る。
目標金額	1,000万円
公開期間	2020年8月14日(金)～11月11日(水)
形 式	寄附型 / ALL-IN形式 ※ ※目標金額の達成の有無に関わらず、集まった寄附金を受け取ることができる形式です。
U R L	https://readyfor.jp/projects/grameen-nippon

ご支援いただいた高額寄付の皆様

500,000円	橘田 大輔 様
300,000円	鎌田 聖子 様
100,000円	望月 利昭 様
100,000円	刈田 圭子 様
100,000円	東 百合子 様
100,000円	若月 一郎 様
100,000円	河越 政人 様

資金面での支援

これまでも多くの皆さまからご支援を頂きましたことに心より感謝申し上げます。より一層の事業拡大のため、皆さまのご厚情、ご支援をお願いする次第です。頂きました貴重なご支援は、グラミン日本の事業運営のために大切に、また有効に使わせて頂きます。

団体
賛助会員
26社

寄付

オンラインで寄付を受け付けております。
ご寄付は主にグラミン日本の事業運営に充てられます。
以下のURLからマンスリーサポーターにお申込み頂けます。
https://congrant.com/credit/form?project_id=1952

基金

基金はグラミン日本の資本金に充てられます。「ユヌス・ソーシャルビジネス7原則」に基づき、配当は行っておりません。事業利益は主にグラミン日本の事業を改善・拡大するために使用いたします。

賛助会員

賛助会員は、グラミン日本とともにエコシステムを形作る「アンバサダー」であり「パートナー」です。
会員区分に応じた特典をご提供します。

1. 団体賛助会員はグラミン日本のパートナー

団体賛助会員は、ともに事業の発展を目指す「パートナー」です。

2. プラチナパートナーは「事業共創パートナー」

「プラチナパートナー」(団体賛助会員プラチナ)の皆様は、グラミン日本ゴールドパートナーと連携して、本業で共通価値の創造を行うことを意図する企業等の事業共創パートナーです。
グラミン銀行は、ダノン様(フランス)、ユーグレナ様などの企業が協働による事業開発を行っています。グラミン日本では、日本国内の生活困窮者の自立に役立つ事業を考案し、実現することを目指します。まさにM. ポーターの主張する「共通価値の創造」を貧困削減という分野で形にしようというものです。

商品・サービスの開発	例:グラミン日本の顧客向け預金・共済/保険・投資信託、シングルマザー向け家事代行サービス等
ダイバーシティ支援	シングルマザー、LGBT、外国人等、多様な属性の人が楽しく働ける環境づくり支援
イベント開催	貧困ゼロに向けたチャリティ・啓発イベント、社会研修等
セーフティネット構築	社員が貧困に陥りそうになった時、貧困脱却を支援するサービスを提供

3. ゴールドパートナーは「就労・起業支援パートナー」

「ゴールドパートナー」(団体賛助会員ゴールド)の皆様は、生活困窮者の自立支援等に関する企業、非営利組織等の就労・起業支援パートナーです。

シングルマザーへの就労・起業機会提供(フランチャイズ等)の連携

シングルマザーの自立を目指した伴走型支援や居場所の提供等の連携

4. シルバーパートナーは「グラミン日本の活動支援パートナー」

「シルバーパートナー」(団体賛助会員シルバー)の皆様は、グラミン日本の活動に共感する企業、非営利組織等の活動支援パートナーです。

オンラインコミュニティ参加による双方向の情報提供による活動

ご入会方法

下記のEメールまでお問合せください。申込に必要な書類をお送りいたします。

Eメール: support@grameen.jp

● 原則メール申し込みとさせて頂いております。

(団体賛助会員の区分)

類 型	募集対象等	会 費
プラチナパートナー (団体賛助会員プラチナ)	事業共創パートナーとなる団体(グラミン日本、ゴールドパートナーと連携して、本業で共通価値の創造を行うことを意図する企業等を念頭)	年一口 1,000,000円
ゴールドパートナー (団体賛助会員ゴールド)	就労・起業支援パートナーとなる団体(生活困窮者の自立支援等に関する企業、非営利組織等を念頭)	営 利 団 体 年一口100,000円 (原則3口以上) 非営利団体 年一口30,000円
シルバーパートナー (団体賛助会員シルバー)	グラミン日本の活動に関心のある(支援したい)企業、非営利組織等。	営 利 団 体 年一口30,000円 (企業等) 非営利団体 年一口12,000円

(特典比較)

	プラチナ	ゴールド	シルバー		プラチナ	ゴールド	シルバー
活動報告(年次報告書の送付等)	○	○	○	就労・起業支援の提携 パートナーコミッティ(会員ネットワーク)提供	○	○	
グラミン日本HPや年次報告書等への掲載	○	○	○	事業共創支援、ビジネスマッチング	○		
主催イベント、交流会へのご招待	○	○	○	主催イベントにおけるスポンサー枠提供	○		
主催イベントにて団体名とロゴの掲示	○	○	○				
オンラインコミュニティ参加と情報提供	○	○	○				

Partners & Supporters

支援者・支援企業一覧

企業
プロボノ支援
10社

フィーチャードパートナー

 **accenture**

アクセンチュア株式会社

NPO特定非営利活動法人
 イエロー・エンジェル
Yellow Angel

NPO特定非営利活動法人
イエロー・エンジェル

 Water FinTech

Water FinTech JAPAN株式会社

 **DKC** 気軽で温かみのある
第一勧業信用組合

第一勧業信用組合

一般社団法人
 日本シングルマザー支援協会

一般社団法人
日本シングルマザー支援協会

 **pwc**

PwC Japanグループ

 **Blackstone**

ブラックストーン・グループ・
ジャパン株式会社

 **MARUI GROUP**

株式会社丸井グループ

都市に豊かさと潤いを
 **三井不動産**

三井不動産株式会社

 **協同労働の協同組合**
労働者協同組合(ワーカーズコープ)

日本労働者協同組合
ワーカーズコープ連合会

プラチナパートナー

 **ジモティー**

株式会社ジモティー

 **Soup Stock**
TOKYO

株式会社スूपストックトーキョー

 **みんな電力**

みんな電力株式会社

 **UT**
Upward Together

UTグループ株式会社

 **Resta**

株式会社Resta

ゴールドパートナー



日本にベビーシッターの文化を

株式会社キッズライン

元気でんき

元気でんき株式会社



ココネット

ココネット株式会社



株式会社
セールスフォース・ドットコム



株式会社
セプテーニ・ホールディングス



一般社団法人
ソーシャルビジネス・ドリームパートナーズ



第2750地区 The Rotary Club of Tokyo South
東京南ロータリークラブ

東京南ロータリークラブ



株式会社ファクト



株式会社フリーダム



公益財団法人
みんなの夢をかなえる会

Metra

株式会社METRA



ワイジェイFX株式会社



株式会社Luce



アニスピホールディングス

シルバーパートナー

おひさまエナジーステーション株式会社

株式会社船井総合研究所

株式会社ワークアカデミー

サポーター



マカaira株式会社



株式会社meguri

参加する

グラミン日本では、今後の運営を誠心誠意サポートしてくださるプロボノやボランティアサポーターを募集しています。

コア
サポーター
40人

例えば…

- プロボノやボランティアサポーターとして事業の企画運営
- グラミン日本主催の各種ワークショップやイベント等の準備と参加
- グラミン日本の活動をSNSなどで拡散、広報支援

プロボノ、ボランティアサポーターを毎年募集しております。
詳しくは、以下のURLをご確認ください。

募集ページ <https://grameen.jp/pro-bono-and-skilled-volunteers/>

サポーターの 声

社会人として働きながら、困っている皆さまのために何か力になれることはないか、少しでもお力になればと思い、参加しました。自分自身も、本業以外のコミュニティで多くの素敵な仲間たちとグラミン日本の運営に携わることができ、貴重な経験をさせていただいています。グラミン日本に出会って救われる方が少しでも増えますように、これからも社会課題の解決を目指し、事務局から微力ながらサポートを続けていきたいと思っています。



稲畑 由紀 事務局



平野 和希 事務局

まだまだ一般的には認知度の低い日本の貧困に、他人ごとにならず、できることから行動していこうとボランティアとして参加しています。グラミン銀行という世界的なつながりに心強さを感じながら、日本の文化に寄り添ったかたちで「貧困」をなくしていきたい。日々ボランティアとして集う方々の多さと能力の高さに、こんなにも真剣にどうにかしようとする人たちがいる!と嬉しく、グラミン日本が社会を変えることを確信しています。

困っている人の力になりたい。生活が困窮している人々の実態を知りたい。そんな想いでグラミン日本に参加しました。グラミン日本では、広告会社であるセプテーニのプロボノの方と協業して、HPやSNSでの情報発信を担当しております。セプテーニとの協業の中で、web広告に関する知識や知見を得られたのはもちろん、複数組織をまたがる仕事の進め方といったポータブルスキルを身に付けることができました。組織の足りない部分を、時間をかけることで補えるという点で、学生ならではの価値提供ができていると感じています。HP担当の社会人が本業の多忙により稼働できないという状況で、私はHP作成ツールを「0から」学び、今ではページを管理しております。今後は、HPやSNSでの発信を通して、グラミンに共感する若者を増やしていきたいと思います。



石黒 裕暉 学生インターン



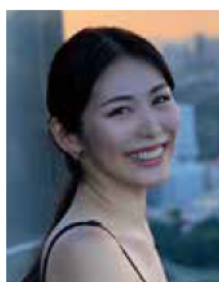
三浦 幸菜 学生インターン

海外大学留学をきっかけに人の本当の幸せを考えるようになりました。そんな中で自分のやりたいこと、夢を誰でも追うことができる“貧困のない、誰もが生き生きと生きられる社会”作りを目指しているグラミン日本の思いに賛同し、参加を決めました。学生ボランティアは、特に様々な人に出会うことができ、その考えに触れることができるのでとても貴重な経験を得られると思います。今後、グラミン日本の思いに賛同してくれる仲間が増え、一緒に活動できることを楽しみにしています。

グラミン日本でインターンシップを始めた理由は深刻化する貧困問題、格差問題の解決に貢献したいと考えたためです。私は貧困や格差のない社会こそが本当の平和だと信じています。グラミン銀行の創設者ムハマド・ユヌス博士がこのような社会を実現できるという可能性を我々に示してくださいました。私はグラミン日本での活動を通して、生活に恵まれていない人々や夢を追いかけている人々の一番の味方になり、彼らと共に明るい未来を歩んで行きたいと考えております。



張 子安 学生インターン



北川 紫乃 学生インターン

ムハマド・ユヌス博士の著書「貧困のない世界を創る」を読み、グラミン銀行の仕組みに共感したことから、学生インターンとして活動に参加しています。日本は一見、裕福な国ですがその中で格差が拡大しており相対的貧困者の数も急増しているという現実を知りました。社会的に困窮している方々のためのサポートをすることで明るい日本の未来を創っていききたいです。グラミン日本の取り組みが多くの方に届くように精進して参ります。

私は社会に貢献したいという思いから、グラミン日本に参加しました。実際にグラミン日本では、参加されている皆さんが、より良い社会にしたいという強い信念を持って活動されています。そんなグラミン日本での日々の活動から学ぶことはとても多く、貧困問題をはじめとした様々な社会問題が、他人事ではないということを強く実感しました。より良い社会を作るため、今後もグラミン日本での活動に取り組んでいきたいです。



鈴木 信也 学生インターン



陳 又禎 学生インターン

大学院でマイクロファイナンスを中心に研究活動を行った際に菅会長の本を拝読し、グラミン日本をもっと知りたいと思いボランティアに参加しました。グラミン日本では各業界の専門家がー丸となって、普段目に見えない人々のニーズに真摯に向き合って活動している組織だと感じました。グラミン過去展開した地域と違い、日本の社会に適するアプローチを模索するのが大きなチャレンジですが、私はグラミン日本の支援、ボランティアメンバーの思いはそれを乗り越え、より多くの人々に届くと信じています。

小企業金融やマイクロファイナンスの知識を生かせる、社会への恩返しができる、そして人生後半の指針が何かしら見つかる、そのような思いを抱きつつ、創設前から参画しています。業務の具体化作業や利用メンバーとの交流、各種イベントへの参加など極めて有意義な機会を得てきました。コロナ禍による時間的制約から、このところ「点」での参加が精一杯になっていますが、さらに継続して貢献できれば幸いです。



阿部 淳一 融資事業



関野 太郎 融資事業

私は愛知県で活動しています。元々貧困家庭の子どもの支援をしてきましたが、橋本卓典さんの『金融排除』でグラミン日本を知り、親世代の生活困窮状態を解決したいとの思いから、ボランティアメンバーとして参加しました。コロナ禍で生活困窮者が増加する中、愛知県でも態勢を拡充して連携団体を増やし、“Fast alone, Far together!”の精神で、仲間と共に1人でも多くの方を支援していこうと思っています。

生活困窮者支援の学習会でグラミンを知り、お手伝いをさせて頂いております。コミュニティソーシャルワーカーの立場として、福祉現場と経済・金融資源との連携協働のお役に立てればと存じます。可能性あふれるグラミン日本の活動を通じて、困りごとの分け合える社会の実現を目指しています。業界をこえて、さあ一緒に!



渡辺 光亮 融資事業



山口 聖子 融資事業

20代の頃、人材業界で幅広い層の転職を支援していました。給与や職種で仕事を選ぶ人が大半で、本当にやりたいことを仕事にしている人はほんの僅かでした。あれから20年、当時に比べ自ら仕事を創り出すことが容易な時代になったにも関わらず、お金がないことで夢を諦めている人が多くいることに悶々としていました。そんな中、グラミンの存在を知り、是非ともボランティアとして応援したいと思い、参画を決めました。



太田 智 会員事業

学生時代にネパールで貧困問題に直面し、この問題と対峙していきたいという想いがありました。その中で日本での貧困問題の実情を知り、2019年夏頃よりグラミン日本でのボランティアとしてサポートすることにしました。「人に魚を与えれば一日で食べてしまいが、釣り方を教えれば一生食べていける」という言葉をモットーとしており、この団体を通してより経済的自立を支援できるような仕組みづくりを作っていきたいと思っています。

百野理事長より「ITの力でグラミン日本の活動を盛り上げてほしい」というご依頼がきっかけでIBMプロボノチーム有志のみなさんと参画しています。よりたくさんのSDGs目標達成に貢献するソーシャルビジネスの開発や、ユヌス博士の提唱する「新しい経済システム」の実現に向け、グラミンモデルを日本で展開するグラミン日本から、世界のグラミンググループが繋がる取り組みを発信していきます。



三上 幸司 会員事業(IT戦略)



上木 恒宏 内部監査

グラミンに関するニュースや著作を見て、興味を持ち、初めてボランティアに参加しましたが、多くの思いを同じくする方々に温かく迎え入れていただき、新しい発見も多く、非常に貴重な体験をすることができ、感謝しています。まだまだ新しいチームですので、多くのメンバーの助けを必要としています。得意な分野を生かし合いながら、チームで一步一步進んでいきたいと思っています。

子ども向けの雑誌・書籍の編集の仕事をしています。雑誌の取材を通じてグラミン銀行、そしてグラミン日本の立ち上げを知り、メンバーの皆さんの熱い想いに心を打たれました。金融の世界は難しいカタカナがたくさん。私のように金融に疎い人でもわかりやすいツールづくりのお手伝いができたらと、参加させていただきました。あらゆる分野のボランティアメンバーが集まるグラミン日本はとても刺激的で、多くの学びをいただいています。



吉田 美穂 広報



石井 寛子 マーケティング

日本の金融等制度は弱者には優しくないと感じており、弱者にも優しい金融に取り組みたいと考えていたところグラミン日本に出会いました。サポーターとしての、本業だけでは出会えない意欲ある仲間との活動は、何ものにも代えがたい経験となっています。グラミン日本によって諦めない人生を送れる人が増えていくことを願っています。

ボランティアの仲間たち

阿部 淳一	鵜飼 眞弘	笠原 けい子	河野 亜莉	杉本 紗世	中山 和之	平野 和希	三上 幸司	山崎 健太郎
石井 寛子	大泉 豊	加勢 未来	後藤 元気	関野 太郎	西山 由貴	深草 稔	御任 李成	山田 浩貴
泉 裕子	太田 智	加藤 総	佐久 間香	関 弾	野中 祐希	星 和宏	森信 香織	横治 明彦
伊藤 雅彦	大山 遼	金子 郁代	佐竹 城	高橋 歌織	林 由香	本田 奈織	薮田 匡史	吉田 美穂
伊藤 晃三	岡野 真由美	鎌田 聖子	下谷 有希	高道 範武	東出 忠昌	松尾 英治	山上 洋平	渡辺 光亮
稲畑 由紀	影山 溪	川島 瑛里子	上木 恒宏	田村 有	平尾 真大	眞辺 義明	山口 聖子	

企業プロボノの 声

Skill to Succeed(スキルによる発展)を目指すアクセンチュアのプロボノとして、主にLINEのチャットボット企画・開発に携わらせていただきました。貧困に困っている方に対して、お金や物資の支援ではなく、融資を通して自立に向けたサポートをされているグラミン日本の取り組みは、もっと多くの方に知ってもらいたいと感じております。その一助として、チャットボットがお役に立ち、グラミン日本に興味を持ってくださる方が増えることを心から願っております。

アクセンチュア株式会社 中村 智幸



Skill to Succeed(スキルによる発展)を目指すアクセンチュアのプロボノ支援の一環で参画しています。起業のワークショップやLINEのチャットボット企画の中で、グラミンの融資を受けて起業したメンバーから企画へのフィードバックをもらったことや、本業では関わることのない学生ボランティアや他の支援企業の方と共に活動ができたことは、私自身の価値観や貧困問題への意識を変えるような貴重な経験になりました。グラミン日本と共に私自身も成長しながら、一人でも多くの受益者の方に支援を届ける活動に取り組んでいきます。

アクセンチュア株式会社 岩橋 美希

ブラックストーン・グループ・ジャパンの一員として、弊社グループの慈善財団を通じてグラミン日本の支援に携わる機会をいただきました。私自身、20代の頃ワーキング・プアでしたが、周囲の方に助けられ、チャンスをもらい、脱することができました。日本には「恥の文化」があり、「自己責任」という言葉も重くのしかかり、困窮に陥っても助けを求めづらい社会の側面があります。グラミン日本の活動が今後も益々広がり、誰もが生き活きと暮らせる社会に近づくことを願っています。

ブラックストーン・グループ・ジャパン株式会社 川添 麻紀子



米国のような先進国においても移民や難民の自立を支えたグラミンモデルが日本に展開されていると初めて知った時、在日外国人として生まれ「お金に困る」ことの怖さを身近に育った私は素直に驚きと感動を抱きました。学生時代にグラミン銀行が金融包摂というビジネスの力で社会課題の解決に挑戦する可能性に大いに魅せられた者の一人として、グラミン日本の就労支援やコレクティブインパクトの構築に貢献していきます。

デロイトーマツコンサルティング合同会社 金 辰泰(グラミン日本顧問)

グラミン日本様と出会い、所与の理由で経済的困窮・心理的孤立という状態に置かれている方々も含めた、社会全体のエンパワーメントとインクルージョンの姿勢が必要だと改めて認識しました。自分の中の使命感と熱意をもって、事業活動に参画させていただいています。グラミン日本と共に、企業・自治体・アカデミア様々な連携を生み出し、日本社会のダイバーシティ&インクルージョンをさらに深いレベルに深化させていきます。

デロイトーマツコンサルティング合同会社 児玉 都(グラミン日本顧問)



大学で福祉政策を学び、その後も支援を必要とする人や支援に尽力されている人とかかわるなかで、ご本人たちだけでなく、法律や制度、社会構造、私たち1人ひとりが持つ「無理解・無関心」が多層的に折り重なっていることが問題なのだと感じていました。広報・アドボカシー活動としてグラミン日本に携わることで、こうした状況を変え、「みんなで取り組んでいく(Far together)」環境を整えたいと考えています。

株式会社オズマピーアール 佐藤 剛



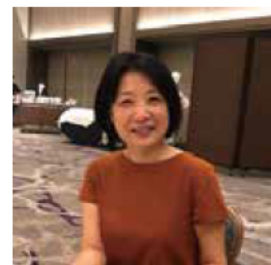
社会課題の解決やサステナビリティの実現には、行政、企業、NPOなどが枠を越え、それぞれの強みや資産を生かしながら、社会的価値の創出と経済合理性を両立させる「コレクティブ・インパクト・アプローチ」が重要です。PwCコンサルティングのプロボノチームとして、グラミン日本や他企業とともに貧困問題の解決に取り組み、社会により大きなインパクトを創出していきたいと考えています。

PwCコンサルティング合同会社 間世田 豪

社会貢献には高い関心があり、社内プロボノの募集を見て「これだ」とすぐに参加を決めました。

実際に参加してみると、NPO活動の幅広さ、起業を目指す方々の熱意など、感銘をうける事が多く、微力ながらご支援できたのは大変得難い経験でした。1年弱と短い期間でしたが、様々な方と出会い、多くを学び、自分自身も成長したように思います。これからグラミン日本を通じて、多くの方が夢を実現し成功されることを期待しています。

SMBC日興証券株式会社 加藤 かおる



本業の証券会社での仕事以外に何か社会貢献ができないかと考えていた時期に、私自身母子家庭で育ったこともあってグラミン日本の活動に強く共感し、その活動を世に知ってもらうための事業報告書などの作成に参画しました。

日本の貧困問題解決に熱い想いを持った運営メンバーと前向きな議論を交わしながら、自身が貢献するだけでなく、本業では得られない学びや気づきがあり貴重な経験ができました。今後もグラミン日本で支援や幸せの輪が広がっていくことを信じています！

SMBC日興証券株式会社 河野 諒

セプテーニでクリエイティブディレクターをしています。クリエイティブの力で世の中を良くしたいと漠然と思っていたことに加え、グラミンの理念に共感したこともあり、お手伝いさせていただくことにしました。自分の専門知識を活かし、WEBサイトの制作を担当しています。一人一人の小さな支援の輪が広がって、今よりもほんの少しでも良い社会になればいいなと思っています。

Septeni Japan株式会社 中澤 綾乃



既存のビジネスの枠組みにとらわれず、時代に必要とされる新たな価値を生み出していくグラミンの理念と実行力に共感し、マーケティング支援の役割で参加いたしました。グラミンを支える企業プロボノや学生インターンとともに、SNSやWEBサイトでの発信している中で、当事者や支援者の圧倒的な熱量に触れ、日々刺激を受けています。コミュニティ形成とグローバルクオリティサービスの両軸で、グラミン日本が創り出す未来に期待しています。#わたしたちの未来への先行投資

Septeni Japan株式会社 菅原 史哉

財務状況

貸借対照表

2020年9月30日現在

(単位:円、税抜)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	17,333,377	19,640,292	-2,306,915
前払費用	572,193	702,926	-130,733
未収消費税	750	1,210	-460
短期貸付金	310,715	131,701	179,014
流動資産合計	18,217,035	20,476,129	-2,259,094
2. 固定資産			
(1) その他の固定資産			
助成金(指定)	2,000,000	-	2,000,000
特定資産合計	2,000,000	-	2,000,000
(2) その他の固定資産			
建物附属設備	-	1,139,089	-1,139,089
一括償却資産	60,668	293,243	-232,575
敷金	1,439,272	3,817,308	-2,378,036
長期前払費用	42,699	20,699	22,668
その他固定資産合計	1,542,639	5,269,671	-3,727,032
固定資産合計	3,542,639	5,269,671	-1,727,032
資産合計	21,759,674	25,745,800	-3,986,126
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,533,688	917,984	615,704
未払費用	95,746	74,797	20,949
未払法人税等	70,000	-	70,000
前受金	1,000,000	3,972,000	-2,972,000
預り金	-	20,880	-20,880
流動負債合計	2,699,434	4,985,661	-2,286,227
負債合計	2,699,434	4,985,661	-2,286,227
III. 正味財産の部			
1. 基金	16,020,000	16,020,000	-
2. 指定正味財産	2,000,000	-	2,000,000
(うち特定資産への充当額)	-10,079,680	-	-10,079,680
3. 一般正味財産	1,040,240	4,740,139	-3,699,899
正味財産合計	19,060,240	20,740,139	-1,699,899
負債及び正味財産合計	21,759,674	25,745,800	-3,986,126

正味財産変動計算書

2019年10月1日から2020年9月30日まで

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益	18,562,900	16,431,321	2,131,579
受取会費	8,320,000	11,620,000	-3,300,000
事業収益	21,688	147,136	-125,448
受取寄付金	141,358	4,664,000	-4,522,642
受取補助金等	10,079,680	-	10,079,680
雑収益	174	185	-11
(2) 経常費用	21,790,216	20,526,537	1,263,679
事業費用	9,369,227	7,912,450	1,456,777
管理費用	12,420,989	12,614,087	-193,098
当期経常増減額	-3,227,316	-4,095,216	867,900
2. 経常外増減の部			
(1) 経常収益	147,136	2,817	144,319
(2) 経常費用	619,719	-	619,719
当期経常外増減額	-472,583	2,817	-475,400
当期一般正味財産増減額	-3,699,899	-4,092,399	392,500
一般正味財産期首残高	4,740,139	8,832,538	-4,092,399
一般正味財産期末残高	1,040,240	4,740,139	-3,699,899
II. 指定正味財産増減の部			
受取助成金	12,079,680	-	12,079,680
一般正味財産への振替額(助成金)	-10,079,680	-	-10,079,680
当期指定正味財産増減額	2,000,000	-	2,000,000
指定正味財産期首残高	-	-	-
指定正味財産期末残高	2,000,000	-	2,000,000
III. 基金増減の部			
基金期首残高	16,020,000	6,000,000	10,020,000
基金受入額	-	10,020,000	-10,020,000
基金期末残高	16,020,000	16,020,000	-
IV. 正味財産期末残高	19,060,240	20,740,139	-1,699,899

メディア掲載情報

2019/10～2020/9

「ムハマド・ユヌス

「人は生まれながらにして起業家だ 今こそソーシャルビジネスを」

朝日新聞GLOBE+ (2020年7月15日)

「ノーベル平和賞のユヌス氏「利己的で利他的な人類に」

日本経済新聞 (2020年6月28日)

「誤った世界に戻すな。経済を再構築しよう。ムハマド・ユヌス氏(経済学者)」

毎日新聞 (2020年5月12日)

「SDGs起業家たち(7)「貧困目の前に」起業支援 日本版グラミン銀で融資」

日本経済新聞 (2020年3月18日)

「貧困は目の前にも 日本版グラミン銀行で起業支援」

日本経済新聞 (2020年3月8日)

「応援し合い、助け合うコミュニティの場に。

日本初のマイクロファイナンス、グラミン日本の挑戦」

IDEAS FOR GOOD (2020年2月27日)

「日本橋でSDGsと社会貢献考えるフォーラム

ムハマド・ユヌス博士らが講演」

日本橋経済新聞 (2019年11月29日)

沿 革

2017年	2月	● グラミン銀行創設者 ムハマド・ユヌス博士が講演のため来日。 菅正広教授(明治学院大学大学院)とグラミン日本設立について合意。
	8月	● 一般社団法人グラミン日本準備機構設立(理事長・菅正広)
2018年	5月	● クラウドファンディングにより1,000万円以上の資金を調達
	8月	● 貸金業登録交付(東京都)
	9月	● 一般社団法人グラミン日本設立、事業開始
2019年	1月	● グラミン日本 SDGs コンソーシアム 開催
	3月	● 日本シングルマザー支援協会主催の合同セミナー「協会プレグラミン」を開始
	4月	● 第1号融資(IT 資格学校授業料として) ● 第2回グラミン日本 SDGs コンソーシアム 開催
	9月	● 設立一周年。支援者にグラミン日本1周年を報告
	10月	● 役員改選。菅 正広 理事長が会長に、百野 公裕 理事が理事長に就任 ● TEDxNihonbashiにて、菅会長がプレゼンターとして登壇。
	11月	● ユヌス博士来日イベント「ソーシャル・ビジネス・フォーラム2019」にて、兒玉理事が登壇。 ● ユヌス博士来日イベント「Japan Action Tank Forum 2019」にて、菅会長が登壇。
	12月	● 日本シングルマザー支援協会との 協働プログラム「プレグラミン」から初の5人組がグラミン日本で始動。
2020年	1月	● ベビーシッター・家事代行サービスを運営する株式会社キッズラインとの コラボ企画「新しい働き方セミナー」を開始。毎月2回継続実施。 ● 明治大学商学部小川ゼミ27期生との対話とプレゼン発表会を開催。 ● PwC社との協働プログラム「事業共創ワーキンググループ(WG)」がキックオフ。 ● PwC社との協働プログラム「事業共創ワークショップ」を開始。
	5月	● Accenture社との協働プログラム 「起業・就業支援オンラインワークショップ」のパイロットを開始。
	6月	● 事務所移転。 ● 広島県後援「2020世界平和経済人会議ひろしま東京セッション」にて、百野理事長が登壇。
	8月	● READYFORクラウドファンディング 「グラミン日本 コロナで困窮する若者・ひとり親の未来を守る。」を開始。 ● 第3期アニュアルレポートを発行。

会社概要

団体名	一般社団法人 グラミン日本
所在地	〒103-0023東京都中央区日本橋本町一丁目3番2号 山崎ビル1階
電話番号	03-3516-2890
登録番号	東京都知事(T1)第31700号 日本貸金業協会会員 第006047号
H P	https://grameen.jp/

名誉会長	ムハマド・ユヌス博士	監事	大倉 然
会長	菅 正広	顧問	根本 剛史
理事長	百野 公裕	顧問	江成 道子
理事	白瀧 征人	顧問	宇佐美 潤祐
理事	兒玉 久実		
理事	シェーファー・平ダーヴィッド		

【アドバイザーボード】

青 井 浩	株式会社丸井グループ代表取締役社長
榮川 和広	弁護士
神 永 晋	元住友精密工業株式会社代表取締役社長
北原 義一	三井不動産株式会社代表取締役副社長
佐藤 慎一	第一生命経済研究所特別顧問、元財務省財務事務次官
鈴木 敦子	NPO法人ETIC.理事兼事務局長
中 内 綾	一般社団法人アフリカ協会理事
中村 誠司	中央電力株式会社取締役会長
丹羽 恵久	ボストン・コンサルティング・グループManaging Director & Partner
原 丈 人	アライアンス・フォーラム代表理事、デフタパートナーズグループ会長
藤沢 久美	シンクタンク・ソフィアバンク代表
古村 伸宏	日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会理事長
安井 正樹	PwCコンサルティング合同会社 パートナー、一般財団法人PwC財団代表理事

【2020年9月30日現在】(あいうえお順、敬称略)

What is Grameen?

グラミンとは？

グラミン銀行は、1983年に
ムハマド・ユヌス博士によりバングラデシュで
創立されたマイクロファイナンス機関です。

貧困や生活に困窮する人々に低金利・無担保で少額融資を行い、貧困脱却・生活自立の支援をしています。設立以来延べ930万人（うち、97%が女性）の貧困層に総額総額304億ドル（約3兆1,920億円）の融資を行い、返済率99.2%という驚異の実績を誇ります。（2020年6月現在）



— 1989年 — 世界に広がるグラミンの輪

1989年には、グラミン銀行のマイクロファイナンスモデルを世界中に広め貧困撲滅を目指す非営利組織「グラミン・トラスト」を設立。延べ40カ国においてグラミンのアプローチの導入支援をしています。

— 2008年 — 「グラミン・アメリカ」設立

米国に設立された「グラミン・アメリカ」では、銀行から融資を受けられない貧困状態の女性に総額総額[10]億ドル（約[1,100]億円）の融資を行い、13万件の雇用を創り出すなど、先進国においてもグラミンモデルが貧困削減に大きな効果を上げることが示しました。

— 2006年 — ノーベル平和賞を受賞

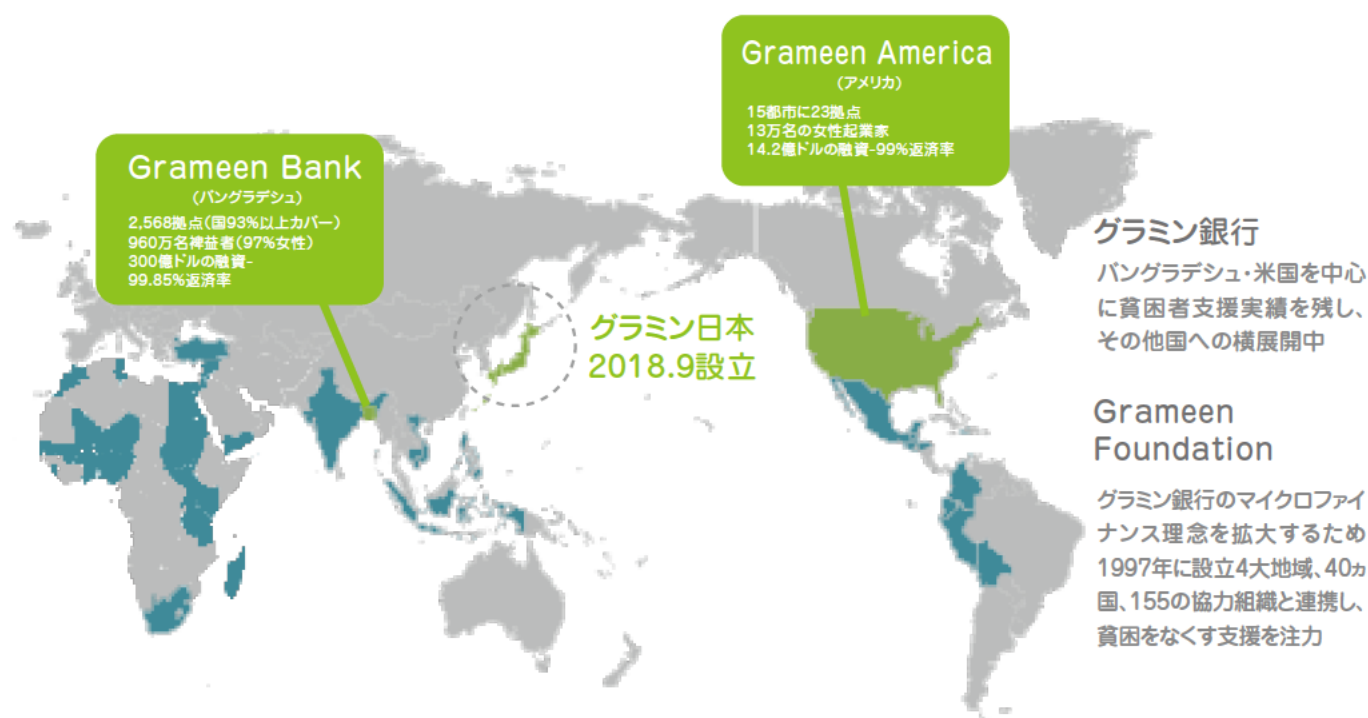
貧困脱却支援の功績が認められ、グラミン銀行とユヌス博士はノーベル平和賞を受賞しました。

ノーベル
平和賞
受賞

— 2018年 — 「グラミン日本」発足

2017年のユヌス博士来日時、明治学院大学大学院 菅正広教授と合意したことを受け、2018年に「グラミン日本」が設立されました。グラミン日本は、同じく先進国であるグラミン・アメリカの成功例をもとに、貧困・困窮状態の方々へのマイクロファイナンスを行っております。





グラミン日本は、ユヌス博士が提唱する
ユヌス・ソーシャルビジネス7原則に
基づいて設立・運営されています。

ユヌス・ソーシャルビジネス7原則

- 1 利益の最大化ではなく、社会問題の解決こそが目的であること
- 2 財務的に持続可能であること
- 3 投資家は投資額を回収するが、それ以上の配当は分配されないこと
- 4 投資額以上の利益はソーシャルビジネスの拡大や改善のために使うこと
- 5 環境へ配慮すること
- 6 スタッフは標準以上の労働条件・給料を得ること
- 7 楽しみながら仕事をする事

Messages from CEO

ごあいさつ

グラミン日本理事長 百野 公裕
Masahiro Momono

米国公認会計士。外資系コンサルティングファーム PwC、プロティビティ (旧アーサーアンダーセン) マネージング・ディレクターを経て、2018年9月にグラミン日本理事/COO、2019年10月より現職。



一般社団法人グラミン日本にご支援をいただき、誠にありがとうございます。

2020年は未曾有のコロナ渦により当然と考えていたことが当然でなくなり、変化を余儀なくされる1年でした。そしてグラミン日本の重要性を改めて痛感する年でもありました。

さて、グラミン日本の融資事業は、「2023年までに、困窮するひとり親および若者1,000人を2つの支援策(起業支援、就労支援)を通じて、年収300万円以上稼げるようにすること、うち女性比率が50%以上であること」を目標としていますが、2021年度については、1,000人の起業・就労トレーニング、100人の融資実行を目指してまいります。

その目標を達成するために、2021年度は「今の生活を安定させる手助けをすること。」そして、「将来を見据えた起業による自立を支援していくこと。」の両軸で事業を進めてまいります。

具体的には、既存のマイクロファイナンスや互助グループ形成の知見をベースに、サポート企業とのネットワークも活用し、就労・起業に向けた

モチベーション・スキル形成から金融教育、就労先の開拓・就労定着まで一気通貫でオンラインを活用した支援策を展開していく予定にしております。

グラミン日本のスローガンFast Alone, Far Together!

一早く行きたいならひとりで行け、遠くへ行きたいならみんなで行こう

アフリカのことわざのひとつなのですが、わたしはこの言葉が大好きです。グラミンに共感し、グラミンにより世の中を変えたいと思っている多種多様な皆さんと一緒に、グラミンの支援の輪を広げ、あらゆる方が生きやすい社会に向けて貢献できればと思っています。

コロナ渦の中で、2021年はさらにグラミンの支援を必要とする人たちが多くなると予測され、昨年以上に皆様のご支援が必要になるかと考えております。引き続きのご支援を賜ることが出来れば幸いです。



GRAMEEN
NIPPON

Annual Report 2021

一般社団法人 グラミン日本 第5期 事業報告書



あなたとつくる、 希望の一步

- 2 代表者メッセージ
- 4 リブランディング&サイトリニューアルのお知らせ
- 6 Topics 1 就労支援プログラム「フラワープロジェクト」
- 8 Topics 2 マイクロファイナンス(小口融資)
- 10 支援した方々からのメッセージ
- 12 Partners & Supporters — ご支援いただいたみなさま
- 13 ご支援のお願い
- 14 財務会計報告
- 15 団体概要



グラミン日本は、「チャンス」を願い、
一步を踏み出そうと想う人々の伴走者です。

GRAMEEN NIPPON



ムハマド・ユヌス博士

グラミン銀行はムハマド・ユヌス博士により、1983年にバングラデシュで設立されました。貧困層を対象に5人一組の互助グループを形成し、低利・無担保で融資するマイクロファイナンスを展開。借り手のほとんどは女性で、融資金を元手にスモールビジネスを起こし、経済的自立を目指します。2006年、ユヌス博士とグラミン銀行は、貧困削減に寄与した功績により、ノーベル平和賞を受賞しました。

マイクロファイナンス

マイクロファイナンスとは、低利・無担保で少額の融資を行い、貧困や生活困窮の状態にある方々が、起業や就労によって自立するのを支援する仕組みです。

支援モデル

就労支援

多様な企業や団体などと連携し、生活困窮状態にある女性たちのスキルアップを支援し、就労機会を提供します。何があっても奪われない「稼ぐ力」の獲得をサポートします。

グラミン日本の目指す姿

- 貧困・生活困窮に陥った時、そこから脱却する助けがセーフティネット／ソフトインフラとして整備されている社会
- 地域・コミュニティがお互いに助け合い、共感のある社会
- 生業的な起業(プチ起業／小商い)が普通にできる社会
- ユヌス・ソーシャルビジネス7原則が実践される社会
- Job SeekerよりJob Creatorが活躍できる社会
- 会社が、株主だけでなく経営者、社員、取引先、顧客、地域・コミュニティなど全ステークホルダーに貢献する社会

代表者メッセージ

**2021年、誰もがいきいきと活躍する社会の実現に向けて、
私たちは挑戦と成長を加速させました。その背景には、強い危機感があります。
長引くコロナ禍により経済活動が大きく制限された結果、
経済格差の拡大や固定化が指摘されています。
早く、広く、確実に支援を届けるために
グラミン日本は進化し続けます。**



百野 公裕
Masahiro Momono

1人でも多くに グラミンモデルを届ける

厳しい経済環境が続くなか、特にシングルマザーをはじめとする女性たちをめぐる状況は、深刻さを増しています。

この危機的な局面に際して、グラミン日本は2つの重大な選択をしました。1つは、支援する方々の自立と成長を後押しする、従来のグラミンモデルの強化です。一時的な資金援助ではなく、起業や就労によって力強く生きていくためのサポートを、資金面でもスキル面でもワンストップで提供する。これが、グラミン日本の最大の特徴であり、強みでもあります。

2021年はこの強みを最大限に発揮するため、1人でも多く方に支援を届けることを目的としたアウトリーチ強化を実施しま

した。小規模の事業を始めるための「プチ起業ワークショップ」※1を毎月開催し、計200名以上の方に参加いただきました。また、休眠預金を活用した就労支援事業「フラワープロジェクト」も、新たに開始した取り組みです。休眠預金を原資に若者たちを雇用し、スキルアップなどを通じて就労機会を創出するキャッシュフローワークへの採択を受けたもので、ビジネスライティングとRPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)をテーマに実施しました。2022年も再びキャッシュフローワークに採択されたことを受け、デジタルスキルの獲得を中心に、引き続きフラワープロジェクトを展開していく予定です。

コレクティブインパクトによる 持続可能な支援

足元を固める一方、私たちはもう1つの重大な選択をしました。それが、ポストコロナを見据えたコレクティブインパクトの強化です。コレクティブインパクトは、組織や立場の枠を超えて共通のビジョンのもとに集い、それぞれの強みを活かして取り組む課題解決の手法です。先のフラワープロジェクトはまさしくこの手法によるものです。

さらに、SAPジャパン、日本シングルマザー支援協会とともに、シングルマザーと企業をつなぐデジタルプラットフォームを立ち上げました。仕事を求めるシングルマザーと、デジタル人材不足に悩む企業をマッチングすることで、貧困と人手不足という2つの課題解決を目指します。社会を変えるためには、個々の活動だけでは限界があります。さまざまな企業や団体とタッグを組み、変革の大きな波を継続的に作り出していくことが欠かせません。グラミン日本はこれからもあらゆる機会をとらえていきます。

2021年7月には、グラミン銀行の創設者でグラミン日本の名誉会長でもあるムハマド・ユヌス博士が、国際オリンピック委員会(IOC)よりオリンピックローレルを授与されました。コロナ禍での開催にさまざまな意見があった東京オリンピックではありませんが、その開会式場でユヌス博士が、ソーシャルビジネスで社会を動かす変革者として表彰されたことは、私たちにとってこのうえなく勇気づけられるニュースとなりました。

グラミン日本の挑戦は、まだまだこれからが本番です。みなさまの引き続きのご支援を、心からお願いいたします。

※1 プチ起業ワークショップは「ミライWorkShop」に改名しました。

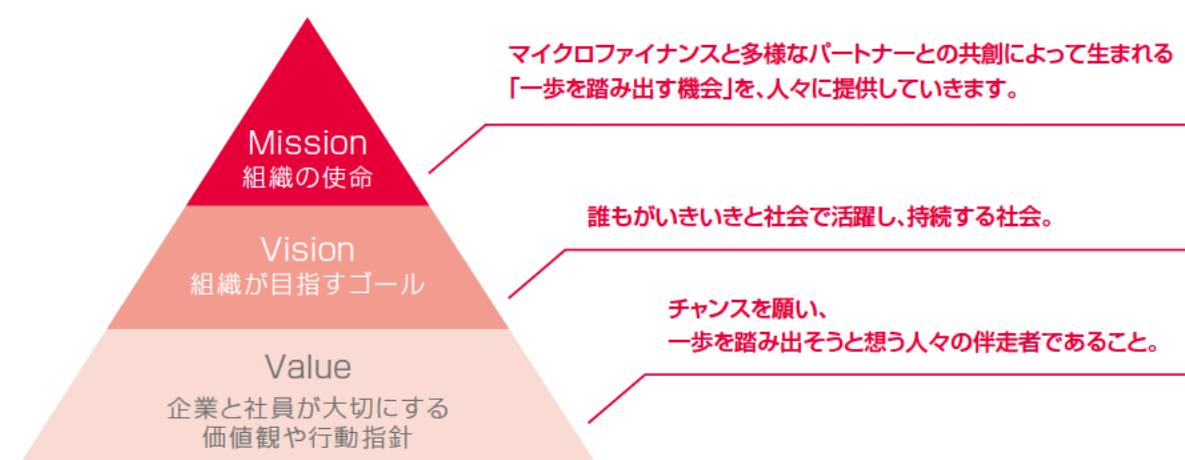
リブランディング＆ サイトリニューアルのお知らせ

設立以来、初めてとなるリブランディングを実施しました。
なぜこのタイミングだったのか。そこに込めた願いとは。
私たちの思いをお伝えします。

ビジョン実現を加速する

グラミン日本はこれまで、経済的に苦しい状況にある方々へ、低利・無担保の少額融資（マイクロファイナンス）や、起業・就労支援などを行ってきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により、シングルマザーや非正規雇用の女性たちは職を失うなど厳しい状況に追い込まれました。さらに、世界的なインフレ加速による物価高騰が家計に追い打ちをかけています。今ほど、一人ひとりの実情に即した包括的な支援が求められている時はありません。

グラミン日本の理念に共感し、力を合わせて世の中を変えたいと思う多様な企業・団体・個人ボランティアのみなさまとともに、一刻も早く支援の輪を広げていきたい。そのような思いから、設立3周年に当たる2021年、ブランドメッセージとロゴマークを刷新しました。困難な状況にありながらもチャンスを願い一歩を踏み出そうと想う人々に伴走し、誰もがいきいきと社会で活躍し、持続する社会の実現のために、これからも歩んでまいります。



ブランドロゴに込めたメッセージ

新たなロゴは、グラミン銀行のアイデンティティである「家」を継承しながら、よりシンプルで洗練されたデザインとして、「一歩を踏み出す人々の集う家」を表現しています。また、外に向かって開かれた扉は、新しい世界へ歩き出す人々の希望を表すものです。ロゴカラーは赤色を基調としました。赤は「博

愛」や「活力」を表し、グラミン銀行の日本版として「日の丸」も象徴しています。さらにSDGsの一番目の目標である「貧困をなくそう」の色でもあります。また、サブカラーとして安心感のあるピンクを採用し、扉の色に使用しました。扉から入ってくる人や一歩を踏み出す人を、優しく見守ります。



新しいサイトで新たな出会いを

リブランディングと同時に、グラミン日本の公式ウェブサイト进行全面リニューアルしました。1人でも多くの方に私たちの存在と活動を知っていただけるよう、親しみやすいデザインと、必要な情報に簡単にたどり着けるシンプルな設計を心がけました。グラミン日本が目指す社会や活動の基盤となるユヌス・ソーシャルビジネス7原則、支援モデルなどを紹介するとともに、実際に支援を受けた方々（グラミンメンバー）や活動を支え

るプロボノの声も掲載しています。随時、最新の情報が追加されますので、グラミン日本をご存知の方や、すでにご支援をいただいているみなさまも、ぜひ一度ご覧いただければ幸いです。サイトリニューアルをきっかけとして、新たなパートナーやプロボノ、そして何よりも未来のグラミンメンバーとの出会いが生まれることを心より願っています。



Topics.1

「学んで、稼ぐ」シングルマザーを応援 就労支援プログラム 「フラワープロジェクト」

シングルマザーに最も必要とされるものの一つが経済力です。無理せず、楽しく働いて、安定した収入を得ることで、金銭的にも精神的にもしっかりとした基盤が築けます。十分な収入につながるスキルを習得して、一時的ではない本物の経済力を自分のものにしてほしい。そんな願いから、グラミン日本ではシングルマザーの就労支援プログラムを行っています。

デジタルスキルで 求められる人材に

2021年度は、デジタルスキルに特化した2つの就労支援プログラムを実施しました。第1期では、主にデジタルメディアで活動するライターを目指し、また第2期では、人手不足や生産性向上で注目が集まるRPAエンジニアを目指して、計11名のシングルマザーなどが参加しました。

フラワープロジェクトは、一般財団法人リープ共創基金による、コロナ禍で困窮する若者に就労機会を提供する助成プログラム「キャッシュフォーワーク」に基づくものです。

その特徴は、グラミン日本が参加者を直接雇用し、3カ月間にわたって給与を支払いながら、スキルアップのための研修や就労体験を積んでいただく点です。学びながら仕事に取り組み、習得したスキルを

実践の場で活かすことで「稼ぐ力」が身につきます。ただし、技術的な知識や技能などのハードスキルだけでは、安定して仕事を続けていくことはできません。ビジネスコミュニケーションや論理思考などのソフトスキル、そして、意思決定や自己認識、金融リテラシーといったライフスキルが基盤となり、本当の意味での自立がかないます。

グラミン日本独自の、5人一組の互助グループ、自分を知り・夢を見つける「リード・ザ・ジブン」、デジタルツールを駆使したきめ細やかなサポートなどを通じて、参加メンバーが本来持つ力強さが引き出されていきました。10ページでも参加メンバーの声を紹介しているので、ぜひそちらもお読みください。これまでの実行団体に加えて、キャッシュフォーワーク2022では、資金分配団体としても初めて採択されました。グラミン日本としてデジタル就労支援を全国展開すると同時に、他団体への横展開の準備を進めています。

眠れる預金でポテンシャルが覚醒する

休眠預金とその活用の仕組み

銀行等に預入されたまま10年以上取引のない預金は休眠預金と呼ばれ、毎年800億円程度発生しています。この資金を民間での公益的な活動の支援に有効活用するために、2018年1月に「休眠預金等活用法」（正式名称「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」）が施行され、子ども若者支援、生活困難者支援、地域活性化等支援の3分野においてNPO法人などの民間団体が行う公益活動に活用されることになりました。

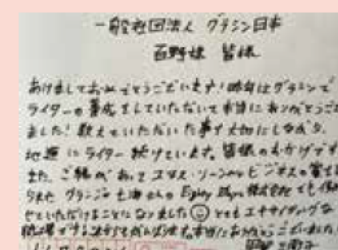


1
VOICE

やっと見つけた、 私に優しい働き方



甲斐三南子さん



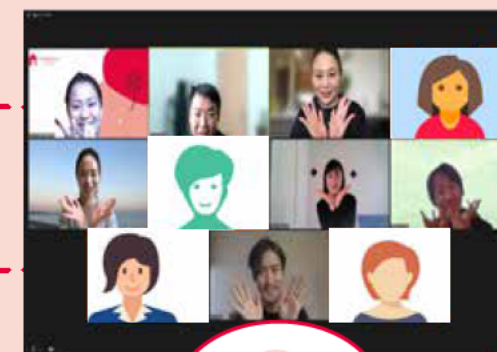
甲斐さんからグラミン日本に届いた年賀状

デジタルライター育成のフラワープロジェクトに参加する前は、キャリアについてのコンプレックスがありました。大学在学中に難病を発症して正社員としての就職をあきらめ、非正規ゆえの貧困を身に染みて感じてきたからです。健康面での不安も残り、キャリアを手にするためには無理し続けなければならないのかと、やるせない思いを抱いていました。

でも、プロジェクトの参加を通して働き方に対する視野が大きく広がりました。体が弱いことも含めて私は私、そんな自分を軸にした「私に優しい働き方」をしてもいいのでは、と意識が変わったのです。フラワープロジェクトは私に、気持ちの面でもスキルの面でも大きな変化をもたらしてくれました。

ライターとしての活動を経て、現在は念願の正社員として働いています。今後は仕事を自らつくり出せる人となって活躍し、そしていつかは、私と同じように自信が持てず、社会復帰を難しく感じている女性たちに寄り添い、支援をする立場になれたらと思っています。

参加者の声



2
VOICE

スキルだけじゃない 手にしたのは自分への信頼

出産後すぐに彼に振られ、精神的にも経済的にも先行きが不安で悩んでいる時、キャッシュフォーワークの募集を知り、臆にもずがる思いで参加しました。それまではただ途方に暮れていた時間が、今後について具体的に考えたり、RPAを勉強する時間に変わりました。

参加中は毎週末に成果を発表するので、定期的に考えを言語化する機会がありました。フィードバックをもらい、さらに思考を繰り返すことで、考えの強度が上がり、自分の決断に少し自信が持てるようになりました。色々と迷って将来のビジョンが全く見えていなかった状態から、3カ月後には、新居、子どもの保育園の確保、新しい働き方と、着実に選択して前向きに行動できるようになったと感じています。

卒業後の現在は、キャッシュフォーワークでトレーニングプログラム開発などを担当したRobo-Co-opに所属し、仕事をしています。今後もRPAスキルを磨きながら、副業として続けたいと思っています。経済的な余裕が生まれて子どもと旅行したり、将来的には自分の好きな料理や絵を描く仕事に就いて子どもを養っていくのが私の夢です。



ヤマシタリエさん
(仮名)

Topics.2

コロナ禍でも年間29回のワークショップを開催！ マイクロファイナンス （小口融資）

グラミンの支援モデルの中核をなすマイクロファイナンス。生活困窮の状態にある方々に、起業や就労に必要な少額の資金を低利・無担保で融資するとともに、起業プランや金融トレーニングを通じたワンストップの支援を提供します。5人1組の互助グループの形成や継続的なフォローアップにより、「誰一人取り残さない」を目標に最後まで伴走します。

オンライン化で 見えてきた新たな可能性

プロボノや学生ボランティアの方々とともに、一歩踏み出そうとするシングルマザーの方々の背中を押す「ミライWorkShop」(旧：プチ起業ワークショップ)を、年間を通じて開催しました。ワークショップとは、マイクロファイナンスの融資を希望する方に、まず参加していただく無料説明会です。2021年は新型コロナウイルスの感染拡大により、すべてのワークショップをオンライン形式で行い、全29回、計203名の方に参加いただくことができました。従来は首都圏中心だった参加者が、海外も含む広い地域に広がったのはオンラインならではの利点と言えます。設立4年目を迎え、ワークショップの構成も進化を続けています。

ミライWorkShop:0 自身について知る

人生曲線などのワークを通して自身の価値観や信念を知り、将来になりたい姿や実現したい夢をクリアにする。

ミライWorkShop:1 起業アイデアを形にする

顧客ターゲットの設定や資金計画などの、どんな事業にも欠かせない要素を明確にして、起業アイデアを「実際にインパクトを生み出す事業」の形に変えていく。

ミライWorkShop:2 開業プランをつくる

開業に向けた手続きやスケジュールを確認し、明日にでも動き出せるように準備する。

構成を今まで以上にシンプルにしたことで、目的がより明解になり、参加者の意欲が高まる効果が生まれています。経済的に自立したい、小さくても自分らしいビジネスを立ち上げたいという思いを胸にワークショップに参加した方が、実際にゼロから事業を立ち上げ、夢を実現しています。さらに、それに刺激を受けた他の参加者が、また一歩踏み出す。この好循環サイクルを大きなうねりにすることが今後の課題です。

外部団体との連携により 広く、深くリーチする

グラミン日本の活動を1人でも多くの方に知っていただき、支援を必要とする方にアクセスしてほしい — それが私たちの願いです。しかし、目標実現に向けた壁は少なくありません。まず、私たちの存在を知ってもらうこと。融資を受けて事業を起こすことは、特別なことでも、難しいことでもないという理解してもらうこと。そして、今は苦しい状態にあっても、夢を持って実現する力が自分にあると信じてもらうこと。これらの壁を突破するため、シングルマザーなどを対象とした豊富な支援実績を持つ外部団体との協働をこれまで以上に進め、成長のエンジンとすることにしました。2021年は、日本シングルマザー支援協会、MAIA、ハートフルファミリーなどと連携し、ワークショップを共同開催しました。今後も、互いの強みを活かせるさまざまな団体とのパートナーシップを通じて、多くの方にグラミン日本のサービスを活用していただけるよう外部連携を積極的に推進していく予定です。

絶対に
プログラマーになる!

特技を活かしてプロの
イラストレーターに

介護福祉
資格をとる!

訪問看護師として
独り立ち!

障害児と旅行ができる
情報サイトを運営!

グラミン日本のマイクロファイナンスの特徴は
5人一組の互助グループを組む点です。
一緒にがんばる仲間がいるから夢が広がり、着実に前進できます。

3
VOICE

「好き」を仕事にして生まれた、 もう1つの目標



渡部さん

いつかは鍼灸院を開業したいと思いながら、グラミン日本のワークショップに参加するまでは、具体的な行動を起こせずにいました。どこかで「できるわけがない」と思っていたのかもしれませんが。アドバイスを受けながら事業計画をつくり込み、お金の現実と向き合ううちに、それまでの甘い考えを猛省しました。一番変わったのは考え方です。変なプライドが邪魔して、難しそうな問題からは逃げることばかり考えていたのが、前向き思考に変化しました。そしてついに融資を受け、鍼灸院の開業に漕ぎつけたのです。数年ぶりに鍼灸師としてお客さまからお金をいただいた時、私はこの仕事が本当に好きなんだと感じました。絶対に続ける! と、覚悟を決めました。同時に、これで終わりではないとも思いました。グラミンで出会った仲間は、起業の先に本当の人生の夢を持っている。では、私はと考えたのです。そこで人生の後半に思いをめぐらし、鍼灸院併設のシェアハウスという新しい目標を手に入れました。技術力と集客力をアップして、経営を軌道に乗せるのが当面の目標ですが、子どもが独立するころには、次の夢の実現に向けて動き出すつもりです。

Messages from the Members

支援した方々からのメッセージ

みなさまの温かいご支援が、多くの女性たちの未来を確かに変えています。
ワークショップや金融支援を受け、自立に向けて歩き出した
グラミンメンバーのメッセージを届けます。

似た境遇のチームメンバー達と時間を共有することで「私はひとりじゃない」と思えました。グラミン日本と関わるようになり、私はまた自分を好きになれました。

子どもがいながら就職活動するのはハードルがとても高かったので、勉強をしながら給与を受け取れてとてもありがたかった。失職してから失っていた自信を少し取り戻せた気がする。

起業について貴重な意見をもらえて、ありがたかった。具体的な行動を早く起こして、夢を現実にしたいと思うようになった。

ひとりだと途中で挫折していたと思う。仲間がいるから最後まで参加できたし、仲間の存在がただただありがたかった。ひとりでないことはとてもいい!!

自分の価値観や、狭い生活行動範囲だけでは気づかない視点からの意見をいただきました。一人で考えているよりも、はるかに早く目標に近づく。もし、自分だけだったら頭の中で終わってしまっていたかもしれません。

自分の良いところや強みを、グループのみんなから言ってもらえてうれしい! 弱みも相談できて心強い!! 安心感が違った。

チームワークが苦手なのでみんなと協力できるかな? と思っていたが、いざ始まってみると、居場所を得たように感じたし、メンバーの話を聞いて心打たれた。

自分の仕事を認めてもらえることは、何にも代えがたい嬉しさがある!!

収入に少し余裕ができて、今まで諦めていたことも少しずつかなえられるようになっている。

ジョブトレーニングを通じて、興味があったことに実際に取り組むことができた。

メンバーのみんなが今より良くなろうと頑張っている様子を見ることができて、自分も頑張ろうと思えた。

お金をもらいながら学ぶことで「こんなに応援していただいているのだから自活できるようにならなければ!」という責任感が芽生えた。

タスク管理、SNS分析、自己PR、報告書の書き方など、今後働くうえでのベーシックスキルを身につけることができた。

3カ月間でコミュニケーション力と自信を身につけ、育児や家事で疲弊していた心を前向きにリセットすることができました。

Partners & Supporters

ご支援いただいたみなさま

資金提供、事業連携、起業・就労支援、プロボノとしてのご協力など、さまざまな形で多大なるご支援・ご協力をいただき、心から感謝しています。

2021年度ご支援企業・団体



アクセントチュア株式会社

設立当初からご支援いただき、近年はマーケティング領域における戦略策定を中心に尽力いただいています。



株式会社UPDATER

賛助会員として、また「グラミンでんき」事業により、電気代のうち一定額をご支援いただいています。



SAPジャパン株式会社

雇用マッチング型の就労支援プラットフォームをご提供いただくとともに、運営も支援していただいています。



エヌエヌ生命保険株式会社

チャリティラン・ウォークによる寄付のほか、社員の方の中小企業サポーターとしての知見が生きる活動も始まっています。



The Coca-Cola Foundation

ご寄付を通じて、シングルマザー向けの自立支援およびエンパワーメントプログラムを支援していただいています。



一般財団法人 日本民間公益活動連携機構 (JANPIA)

休眠預金事業の実行団体に採択されたことで、キャッシュ・フォー・ワークプロジェクトを実施できました。



ブラックストーン・グループ・ ジャパン株式会社

2019年から、日本オフィスよりBlackstone Charitable Foundationを通じて支援していただいています。



三井不動産株式会社

グラミン日本の活動に賛同いただき、賛助会員としてご支援いただいています。



医療法人社団 咲優会

賛助会員とし、グラミン日本の活動をバックアップしていただいています。



株式会社セプテーニ・ホールディングス

賛助会員として、またプロボノ派遣などを通じて、支援していただいています。

【起業や就労のご支援】Animo株式会社 / 一般社団法人日本シングルマザー支援協会 / 日本労働者協同組合ワーカーズコープ連合会 / NPO法人のわみサポートセンター / 一般社団法人ハートフルファミリー / MAIA株式会社 / ランサーズ株式会社 / 一般社団法人Robo Co-op

【プロボノのご支援】アクセントチュア株式会社 / SAPジャパン株式会社 / SMBC日興証券株式会社 / エヌエヌ生命保険株式会社 / 株式会社オズマピーアール / 株式会社ガイアックス / 株式会社キート / 株式会社セプテーニ・ホールディングス / デロイトトーマツコンサルティング合同会社

ご支援のお願い

グラミン日本の活動は、みなさまのご支援に支えられています。

これまで多くのご支援をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。より一層の事業拡大のため、引き続きご支援をお願いいたします。お寄せいただきますご支援・ご寄付は、「誰もがいきいきと社会で活躍し、持続する社会」の実現に向けて、有効に活用させていただきます。

外部寄付サイトcongrantよりご寄付いただけます

毎月のご寄付
(マンスリーサポート)

毎月定額を寄付する



https://congrant.com/credit/form?project_id=1952

今回のご寄付

自由な額を寄付する



https://www.congrant.com/credit/form?project_id=3288

ご寄付以外のご支援について

個人のみなさま

グラミン日本へプロボノとして参画し、日本の貧困問題の解決に取り組んでいただく方を募集しています。

法人のみなさま

ご寄付によるご支援以外にも、次のようなパートナーシップを結ばせていただいています。

助成金・基金によるご支援

基金はグラミン日本の資本金に充てられます。「ユネス・ソーシャルビジネス7原則」に基づき、配当は行いません。事業利益は主に、グラミン日本の事業を改善・拡大するために使わせていただきます。

賛助会員としての継続的なご支援

賛助会員は、グラミン日本とともにエコシステムを形成する「アンバサダー」であり、「パートナー」です。会員区分に応じた特典をご提供します。

商品やサービスなどの資金のご提供

シングルマザーの方々への起業や就労のご支援

プロボノとして参画

財務会計報告

貸借対照表

2021年9月30日現在

(単位:円、税抜)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	14,252,588	17,333,377	-3,080,789
未収入金	92,694	750	91,944
前払費用	381,719	572,193	-190,474
短期貸付金	1,414,573	310,715	1,103,858
貸倒引当金繰入	-168,158	-	-168,158
流動資産合計	15,973,416	18,217,035	-2,243,619
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
助成金	18,415,918	2,000,000	16,415,918
特定資産合計	18,415,918	2,000,000	16,415,918
(2) その他の固定資産			
一括償却資産	-	60,668	-60,668
敷金	1,439,272	1,439,272	-
長期前払費用	23,601	42,699	-19,098
その他固定資産合計	1,462,873	1,542,639	-79,766
固定資産合計	19,878,791	3,542,639	16,336,152
資産合計	35,852,207	21,759,674	14,092,533
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	400,000	1,533,688	-1,133,688
未払費用	869,870	95,746	774,124
未払法人税等	70,000	70,000	-
前受金	-	1,000,000	-1,000,000
預り金	336,107	-	336,107
流動負債合計	1,675,977	2,699,434	-1,023,457
負債合計	1,675,977	2,699,434	-1,023,457
III. 正味財産の部			
1. 基金	16,020,000	16,020,000	-
2. 指定正味財産	18,415,918	2,000,000	16,415,918
(うち特定資産への充当額)	-11,995,223	-10,079,680	-1,915,543
3. 一般正味財産	-259,688	1,040,240	-1,299,928
正味財産合計	34,176,230	19,060,240	15,115,990
負債及び正味財産合計	35,852,207	21,759,674	14,092,533

正味財産変動計算書

2020年10月1日から2021年9月30日まで

(単位:円、税抜)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益	20,415,000	18,562,900	1,852,100
受取会費	4,624,000	8,320,000	-3,696,000
事業収益	135,420	21,688	113,732
受取寄付金	3,681,847	141,358	3,540,489
受取補助金等	11,973,576	10,079,680	1,893,896
雑収益	157	174	-17
(2) 経常費用	21,717,509	21,790,216	-72,707
事業費用	8,849,179	9,369,227	-520,048
管理費用	12,868,330	12,420,989	447,341
当期経常増減額	-1,302,509	-3,227,316	1,924,807
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	2,581	147,136	-144,555
(2) 経常外費用	-	619,719	-619,719
当期経常外増減額	2,581	-472,583	475,164
当期一般正味財産増減額	-1,299,928	-3,699,899	2,399,971
一般正味財産期首残高	1,040,240	4,740,139	-3,699,899
一般正味財産期末残高	-259,688	1,040,240	-1,299,928
II. 指定正味財産増減の部			
受取助成金	28,411,141	12,079,680	16,331,461
一般正味財産への振替額(助成金等)	-11,995,223	-10,079,680	-1,915,543
当期指定正味財産増減額	16,415,918	2,000,000	14,415,918
指定正味財産期首残高	2,000,000	-	2,000,000
指定正味財産期末残高	18,415,918	2,000,000	16,415,918
III. 基金増減の部			
基金期首残高	16,020,000	16,020,000	-
基金受入額	-	-	-
基金期末残高	16,020,000	16,020,000	-
IV. 正味財産期末残高	34,176,230	19,060,240	15,115,990

団体概要

団 体 名

一般社団法人 グラミン日本

所 在 地

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-7 東信室町ビル4階

電 話 番 号

03-3516-2890

登 録 番 号

東京都知事(T2)第31700号 日本貸金業協会会員 第006047号

H P

<https://grameen.jp/>

名 誉 会 長

ムハマド・ユヌス博士

顧 問

岩下 千草

創 設 者

菅 正広

宇佐美 潤祐

理事長・CEO

百野 公裕

太田 智

理事・事務局長

中川 理恵

金 辰泰

理 事

シェファール・平ダーヴィッド

児玉 都

白瀧 征人

小林 立明

児玉 久実

根本 剛史

高橋 歌織

羽生田 慶介

監 事

大倉 然

東出 忠昌

三上 幸司

望月 利昭

【アドバイザーボード】

青 井 浩

株式会社丸井グループ 代表取締役社長

中 内 綾

一般社団法人アフリカ協会 理事

入江 のぶこ

東京都議会議員

中 村 誠 司

Team Energy株式会社 代表取締役

内 田 士 郎

SAPジャパン株式会社 代表取締役会長

丹 羽 恵 久

ボストン・コンサルティング・グループ
Managing Director & Partner

江 成 道 子

一般社団法人日本シングルマザー支援協会
代表理事

原 丈 人

アライアンス・フォーラム代表理事、
デフタパートナーズグループ会長

大 石 英 司

株式会社UPDATER 代表取締役社長

平野 啓一郎

芥川賞作家

小原 壮太郎

一般社団法人the Organic 代表理事

藤 沢 久 美

シンクタンク・ソフィアバンク 代表

加 藤 智 康

三井不動産株式会社 常務執行役員

藤 田 英 明

株式会社アニスピホールディングス
代表取締役社長

神 永 晋

元住友精密工業株式会社 代表取締役社長

古 村 伸 宏

日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)
連合会 理事長

橋 田 大 輔

ブラックストーン・グループ・ジャパン株式会社
代表取締役

M I N M I

シンガーソングライター

塩 田 真 弓

株式会社テレビ東京 報道キャスター・記者

安 井 正 樹

PwCコンサルティング合同会社 パートナー、
一般財団法人PwC財団 代表理事

島 田 圭 子

ラッセル・レイノルズ・アソシエイツ・
ジャパン・インク マネージング・ディレクター

鈴木 敦子

NPO法人ETIC.

国際NGO InternetBar.org ディレクター

2022年4月現在。五十音順。敬称略